

平成30年度 町政懇談会

質疑応答集

平成30年度「町政懇談会」開催結果(全11会場)

開催日	地区	会場	参集	(人)	
				男	女
7月3日(火)	男山地区	男山地区公民館	34	28	6
7月9日(月)	石田・弓木地区	石田地区公民館	22	22	
7月10日(火)	三河内地区	三河内地区公民館	22	16	6
7月11日(水)	市場地区	四辻地区公民館	27	24	3
7月13日(金)	山田地区	上山田地区公民館	25	17	8
7月17日(火)	岩屋地区	岩屋地区公民館	20	16	4
7月18日(水)	石川地区	石川農業構造改善センター	34	27	7
7月20日(金)	桑飼地区	温江地区公民館	30	23	7
7月23日(月)	加悦地区	元気館	27	18	9
7月27日(金)	与謝地区	滝地区公民館	46	42	4
8月1日(水)	岩滝地区	知遊館	31	19	12
合計			318	252	66

No	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
1	美しく住みやすい安心安全なまち	男山	7/3	会場	阿蘇海の将来の展望は。	平成28年の条例制定。より良い環境を次世代へつなぐ努力をしていくというもので、農業についても薬を減らすことや下水道整備を進めていくことで美しい終わりの無い取り組みですが町民の皆さんと一緒にしていきたいです。
2	美しく住みやすい安心安全なまち	男山	7/3	会場	管理法案の可決など、森林整備について町はどのように対応していくのか。	法のとおり中身は伺っているが、明言は差し控えるが、多くの森林において所有者が特定できない状況は他の市町と同様であり、全ての森林の管理を町が責任をもって対応していくことは困難と考えます。問題を住民と共有し、財政支援等国、府の指導に沿って体制を整えていきたいです。
3	美しく住みやすい安心安全なまち	男山	7/3	会場	男山川の浚渫を府に要望して3年かかったが、阿蘇橋から下流はしていただいたが、上流の浚渫については。	男山川の浚渫については京都府丹後土木事務所が施工しているが、府民公募型要望は過去に採択されたものが多く、その予算が追いつかない状況で時間を要した。今後は河口を京都府港湾局が浚渫するとの情報があるので、詳しくはまた説明があると思う。上流部の浚渫については、予算等の事情からやれないと聞いている。
4	美しく住みやすい安心安全なまち	男山	7/3	会場	海岸道路の除草について、他の区は府から交付金をもらっているが、男山区はボランティアでしている。府から町へお礼の一言でもあったか。	男山区民の皆様、ありがとうございます。このことは府に伝えます。
5	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	男山	7/3	会場	エアコン設置について、 1 幼稚園、保育園は導入済みか 2 中学校は 3 小学校は 4 その教室は 5 35度を超える中、子どもたちは暑くて金魚のように口をパクパクしていたと聞く。極端に言えば虐待ではないか予算の組み替えをすとか、ゴミの問題と同じことなので、エアコンを設置しなければならないという意識を職員にもってほしい。保育園でも子供がバタバタ倒れると聞く。家ではエアコンがあるのに学校では無いというのはどうかアトピーの子供にとっても汗で辛いと思うので、お金が無いとかではなく考えてほしい。 6 子供がよく集まる教室から整備してほしい。	1 すべてとはいえないが整備していきます。 2 橋立中学校は昨年度から整備しています。 3 全教室ではないが設置しています。 4 財政面及び学校再編があるので、調整していきたい。 5 夏季の温度異常が健康に影響すると承知している。計画的に整備していくのでもう少し時間をいただきたいと思います。 6 岩滝小学校では保健室、PCルーム、職員室に設置している。その他の教室は扇風機なのが現状です。
6	魅力ある教育が活力ある人や地域を創る	男山	7/3	会場	岩滝小学校のグラウンドからサッカーボールが車道に出てくることがあり、ひやとしたことがある。何か対策はないか。	認識不足です。高台でもあり学校と調整したいです。
7	つながりで笑顔未来につむぐまち	男山	7/3	会場	かえてこども園のステージが無く発表会等苦労されている。次のこども園では配慮してほしい。	保育士が工夫してくれています。今後のこども園設置に伴う設計では、今回のご意見や保育士の意見を聞きながら反映していきます。
8	美しく住みやすい安心安全なまち	男山	7/3	会場	近年、事件・事故等多いが与謝野町の防犯カメラはどれくらいあるのかまた、どれくらい設置が必要か。	与謝野駅に4台設置している他は、公共施設で設置しているものはありません。子どもたちの通学路にも設置されていませんが、地域の見守り活動などソフト面における防犯対策を推進していきたいと考えており防犯カメラを導入する時期ではないと考えています。
9	その他	男山	7/3	会場	ふるさと納税について、与謝野町ではいくらあるのか。	4千万円から5千万円程度あり、毎年UPしています。
10	地元を誇りに想い、人の流れを生むまち	男山	7/3	会場	阿蘇シーサイドパークの活用について、遊具やグラウンドゴルフ場など利用があるが、ため池や東側の活用ができていないのでは道の駅やちりめん小物の販売所などを設置して観光バスが寄れるといった有効活用ができないか。	道の駅とはいかないでも、海の京都と連携するなど無限の可能性があるとと思っています。
11	地元を誇りに想い、人の流れを生むまち	男山	7/3	会場	この度、阿蘇海のイベントがあるが、シーカヤックとか平日でもできるようにならないか。	阿蘇海の環境改善が大きいと思います。阿蘇海には楽しみもあると思っているので、シーカヤックやSUPなどマリンスポーツが必要と思っている。徐々に仕掛けや仕組みを常設化していきたい。予約状況も良くイベントの動向を見ている。溝尻漁協との漁業権も努力していきたいです。
12	美しく住みやすい安心安全なまち	男山	7/3	会場	区民の心配として水源の森があり、昨年、議員より質問があったかと思うが、現地についてみないとわからないもので、道が荒れて狭く農林課にて舗装してもらったが、さらに延長して舗装をお願いしたい。また、堰堤がいっぱいまで土砂が溜まっているので浚渫をお願いしたい。	蛇谷の整備は29年度から着手している。今後もおつしやるとおり、災害復旧を中心に可能な範囲で進めたいと思います。
13	住民が主人公となるまち	男山	7/3	会場	固定資産税について、この地区でも滞納されている方はあるのか。	あります。滞納されている方が亡くなっても相続人に納税義務を引き継ぎ納付していただきます。

No	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
14	美しくて住みやすい安心安全なまち	男山	7/3	会場	府道網野岩滝線について、京丹後市と期成同盟をすると聞いたがどうなっているのか。	整備促進期成同盟会の準備中で7月25日に設立予定。(実際は京丹後市の事情により8月27日設立) 府では事業廃止となっているため、一からのスタートとなるが改めて要望し進めていきます。
15	美しくて住みやすい安心安全なまち	男山	7/3	会場	蛇谷堰堤の浚渫について、浚渫していただいたが、大量の砂が井堰に溜まった。業者が不慣れであったのでは。	蛇谷堰堤の浚渫時には井堰の操作をしていただいていることお礼申し上げます。堰堤の浚渫は隔年で行っていますが、昨年は堆積土が少なく1年延期したため堆積土も増えていました。業者も毎年同じではないので不慣れであったかもしれませんが。今後は一層の注意を払います。
16	つながりで笑顔を未来につむぐまち	男山	7/3	会場	かえてこども園前の通園路について、迎えの時、体育館側の歩道で藪後から来る車が見えづらい。子供目線でいいので鏡など設置してもらえないか。	交通教室における警察署の指導としては、園児がカーブミラーによって安全確認を行うことは困難であり、同伴の保護者等の大人が安全に誘導することが必要との指導を受けています。
17	一人ひとりが個性を活かし安心して働けるま	男山	7/3	アンケート	よさのビールは町内の飲食店で飲みたい(数量限定でよい)	
19	一人ひとりが個性を活かし安心して働けるま	男山	7/3	アンケート	町内野菜をもっと買いやすくしてほしい	野菜の駅、あつえ彩菜館、岩滝ふれあい朝市などの直売所を支援することにより地産地消を進めます。
20	地元を誇りに想い、人の流れを生むまち	男山	7/3	アンケート	「アクティビティ」のしかけは、民間の専門を配置してほしい	
21	その他	男山	7/3	アンケート	豊かな自然、温かな人のつながりなど本町の”よさ”はよく分かっているつもり。でも、やっぱり元気・活気がない。 町長が言われるように、ホップづくり、ビール工場など経済面での成長が感じられれば、若者が戻ってくる町になるのではいつも思っている。 「おらが町」と思える自慢の与謝野町にしていくのは私たち大人一人ひとりの意欲したい。 また、家族の支えが弱い子どもたちの居場所づくりも今後検討していただきたい。朝ご飯を食べずに学校へ向かう子、季節に合った服装がそろえてもらえない子など…。こんな状況では人を信じる心は育まれないと思う。”親育て”講座や親サポートも大きな課題ではないか。	ご提案をいただきました。それぞれの分野での参考とさせていただきます。ありがとうございます。
22	美しくて住みやすい安心安全なまち	男山	7/3	アンケート	男山公園(横田公園)は町の管理だと思う。 毎月隣組が交代で草刈り等行っているが、その刈った草等、公園の周りに穴を掘って埋めているのが現状。その為、まわりがどうしても高くなり、雨が降ったとき、中心に雨水がたまり水はけがとても悪いので、何か対策をお願いしたい。いちど、降雨時にみに来てもらえたら現状がわかると思う。 また、刈った草は埋めるのではなく回収してほしい。	刈られた草は区にお渡ししているゴミ袋に入れ、可燃ごみの収集日にゴミステーションに出してください。なお、その場合は事前に区から建設課へ連絡をしてもらってください。(建設課から住民環境課への事前連絡が必要なため。)
24	住民が主人公となるまち	男山	7/3	アンケート	行政と町民が直接話せる会であり、今後も継続を。	継続していく方向です。
25	住民が主人公となるまち	男山	7/3	アンケート	町役場に電話すると部署名は言われるが電話口の名前を言われることがない。電話を受けた者が名前を言うのは常識と思うが。	部署名・氏名を言うよう再度指導を行います。
26	住民が主人公となるまち	男山	7/3	アンケート	30年度主要事業を町長から直接説明を受け思いが伝わりたいへん良かった。 質問、意見もあり、それらに対して適切な回答あり良かった。	ありがとうございます。
27	住民が主人公となるまち	男山	7/3	アンケート	与謝野町がよりいっそう住みやすい町となりますようよろしくお願ひします。	
29	美しくて住みやすい安心安全なまち	石田・弓木	7/9	会場	豪雨被害の対策・復旧、避難所の確保及び給水工事について、体育館は避難所になっているため早く改修してほしい。	体育館の修繕についての時期は未定となっておりますが、災害関係の補正予算を組み業者選定を進めています。
30	美しくて住みやすい安心安全なまち	石田・弓木	7/9	会場	10年後の箱物の整理について、体育館は廃止となっている。避難所にもなっており、なくなると公民館では入りきらない。築年数もあるが、簡単に閉鎖することのないように考え直してほしい。	体育館はH34年に耐用年数に達します。白書の中では将来的には廃止にしている。耐用年数を過ぎると危険な建物となる。体育館については、他の体育館もあるため廃止としたいが、いきなり廃止するのではなく、使える間は使っていただき、徐々に廃止するものは廃止、統合するものは統合したい。避難場所については、学校の体育館などで手はずを整えます。

No	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
31	美しくて住みやすい安心安全なまち	石田・弓木	7/9	会場	山崩れがある。今より広がらなければ良いが、常に点検しているのか。町職で分からないのであれば、専門家を呼んで調べてもらえる人がないか。	山林崩壊については、農林課で把握している。森林全体の手当では困難だが、再度被災する危険性も含めて順次京都府に見てもらい、必要に応じて治山事業を実施して頂いています。
32	美しくて住みやすい安心安全なまち	石田・弓木	7/9	会場	野田川に中洲ができています。水の流れも悪くなり石川で溢れたり、猪や熊も中州を渡ってくる。改修について府は動かない。町からも要望してほしい。	野田川の浚渫については、ことあるごとに京都府丹後土木事務所に要望しており、今後も継続して要望していきます。ご指摘の中洲についても要望しています。また、河口の堆積は京都府港湾局の管轄になるので港湾局に状況を伝え要望しています。
33	美しくて住みやすい安心安全なまち	石田・弓木	7/9	会場	水枯れの工事について、先方の手違いがありストップしている。後々は町との契約になるので把握しておいてほしい。	水枯れ対策については、地元のみなさんの協力・理解を得ながら京都府道路公社と最終の詰めまで進めてきましたが、最後に迷惑をかけています。今後も地元の理解が得られるよう解決に向け道路公社に働きかけていきます。
34	美しくて住みやすい安心安全なまち	石田・弓木	7/9	会場	土砂災害について、二次災害や人命にかかわるまでに十分調査して対処してほしい。	石田地域においても2カ所山崩れがある。大雨によって、土砂崩れによる家屋の倒壊案件が多発しています。これまで以上に山林保全、整備を真剣に行わないと、このような状況を頻繁招く可能性があります。森林環境に関する現状は、国、府でも新たな税金を財源に、森林が持続的に管理できる体系を整えます。このことにより、住民の生活の安全につながると考えます。短期的に対応しなければならぬものと長期的な視点で決めていくものがあるため、しっかりと見極めていく必要があると考えています。
35	美しくて住みやすい安心安全なまち	石田・弓木	7/9	会場	平成29年と平成30年の2年間で、府道から町道山手線に抜ける道路について、本当に着工するのか、するのであれば何時ごろ着工、完成なのか。1年間に1カ所ずつ行い、2年で2カ所の工事を完了する約束だった。区民対象の説明会では道路改良に伴い車両の出入りなど直接関係する家には、別途、詳細な説明をしてほしいと依頼した。すでに個別訪問して説明済みだと思うが、工事の開始前にもういちど説明してもらい、細かい話を聞き、生活に不便があるようなら要望したい。今回、大内のバス停の交差点の改良は後になると分かった。山城コンクリートの横の横断歩道の一旦停止では線があっても車は止まらない、反対に農耕センターから出て来る車は信号や標識、線がなくても止まっている。どちらの交差点も危ないと感じており、道路改修が30年度で終らず遅くなるのなら、平成28年の懇談会でも話した90%の人が危険を感じて止まる石田から出てくる交差点について、以前あった、一旦停止の線をもういちど、引いてもらうことはできないか。	府道弓ノ木岩滝線と町道山手線の三叉路については、公安委員会との協議で信号機の設置が平成31年度にずれ込むと聞いており、道路工事も合わせて進めないと工事期間が長引き非効率になるので平成31年度までお待ちいただきたい。 また、大内バス停交差点については、複雑な変則交差点であるため公安委員会との協議がまとまっていない。このままでは危険箇所を放置することになるので応急的にも停止線などの路面表示ができないか公安委員会と協議します。
36	美しくて住みやすい安心安全なまち	石田・弓木	7/9	会場	今回の大雨でも警報が何回か出ているが、発令時には放送があるが、解除時にはない。いつ解除になったのか分からないと、いつまでも災害の被害を用心したり、気持ちも落ち着かない。なぜ、解除について放送がないのか。	警報の発令については、町の指示ではなく、国民の安全のために昼夜を問わず送信される気象庁からの情報を町の防災行政無線等を自動起動させ町民に伝達しています。解除の場合も同様に時間は様々です。町からタイミングよく警報解除の放送を入れるよりも、解除の時には自助努力で情報収集して確認をお願いしたいと考えています。安易に放送をすることで、音量の大きさに苦情があることも事実でありますのでご了解をお願いします。
37	その他	石田・弓木	7/9	会場	隣組長が持つてくる日赤社員の募金期間が1箇月半。募集期間は5月いっぱい。組長からの集金、町に届けるのがそれぞれ約1週間あり、合わせると1箇月半になる。他の用務もあり早めに町に持って行きたいが、期間については、町で決めるのか日赤で決めているのか知りたい。集金できても期日ぎりぎりまで手元に持っている組長もあり、期間が長くなればなるほど、集まりにくい。集金の期日についても、昨年の例では、組長に配る書類と(会計が)町からもらう書類とでは期日の記載内容が異なり、会計がもらうチラシの締切りのほうが早いので、隣組長に催促に行った際にトラブルとなった。組長に配る書類でも同じ期日を知らせてほしい。	日赤社員の募金についての依頼は日赤からあり、袋などは町から配っています。期間を短かくしてほしいという意見なので、担当と日赤とのやり取りが詳しく分からないが、現金を預かる負担を軽減できるよう、前倒しできる工夫ができるものであれば、指示をしておきます。隣組長の集金期日の周知について申し訳なく思っています。
38	美しくて住みやすい安心安全なまち	石田・弓木	7/9	会場	野田川のジョギングコース、自転車道のある堤防を毎日使っている。草が伸びて歩行者同士でもすれ違いにくくなる。今年はアジサイが見られるよう早くしてもらったが、3カ所ほどすれ違いにくいところがある。そこだけでも本格的に堤防の除草をするまでに草刈をしてもらえないか。みんなそう思っていると思う。建設課、区長、議員、土木事務所にも同じことをお願いしている。町が何も知らないようでは憤りを感じる。	ジョギングロードの草刈は、野田川堤防の草刈として京都府から委託を受け、農事組合にお世話になっていますが、草刈の目的と予算の関係から実施時期が希望に添えていない分があります。また、町からはアジサイの剪定及びアジサイ周りの除草を老人会(長寿会)にボランティアをお願いしていますが、こちらについても人手不足などにより実施そのものが難しくなっているのが実態です。ジョギングロードは府が管理する自転車道でもあり、維持管理のあり方について以前から要望しており、引き続き要望します。

No	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
39	住民が主人公となるまち	石田・弓木	7/9	会場	家屋を壊すと固定資産税が6倍になる。跡継ぎがなく、家を壊すことに税のほうで国で何かあるのか。土地を買ってもらった人に家を壊してもらっても同様で、買い手に申し訳ない。後継ぎのない家庭は固定資産税を免除できないか。地価も下がり土地は売れないし、家屋を壊すと税が上がることは理不尽。十分に考えてほしい。寺と墓地の問題も併用している。檀家が250件しかないお寺だと、先では墓の守もできなくなる。社会生活の中の一環なので、こども考えてほしい。	固定資産税は地方税法に基づくことになるため町では自由にできません。住居では固定資産税が上がるが、工場は話が違ふよう。これは全国的な課題のため、これから同様の声が上がらる中で国がどう対応するかにかかっています。町ではどうにもできないと理解していただきたいと思います。
40	つながりで笑顔未来につむぐまち	石田・弓木	7/9	会場	療育機関では、わんぱく、すずらんなど事業所はある。子どもについての親の悩みもあり、北部医療センター小児科に通院、他医の人は舞鶴子ども療育センターに年2-3回通院する。療育機関の紹介を受け、情報提供のために支援ファイルを持って相談に行っている。専門医が少なく、次の受診まで期間が延びる。近くに専門医を派遣してもらえないか。	近隣、町内には3カ所の療育機関があります。専門医による診断が重要と認識しており、継続した指導の上で療育機関から支援を受けることとなります。入り口の部分が充実しないと、手当てができないことも同感。京都府に対しても管内に専門医の派遣を要望しているところです。
41	美しくて住みやすい安心安全なまち	石田・弓木	7/9	会場	新潟で女兒が下校中に殺害された。民生委員、見守り隊も登下校中に立っているが限界がある。帰宅してからも子どもが遊びに行くときに、さらわれる危険もある。町内に防犯カメラはあるのか。あることで警察の捜査も有力になるため、安心安全の町になると思う。	子どもたちを守ることは住民の願いです。いかに守るか、健全に育成するかは、色々な手段を持って目的を達成することができると考えています。登下校時の通学路で子どもを守る観点からは、現在の住民の皆さんが守りを固める体制をとることが一番効果的であると考えています。誘拐されたらおしまいの考えではなく、それ以前に抑止力を働かせることが効果的であると思いますが、仮に防犯カメラを設置するとした場合、設置場所についての議論が非常に難しいと考えています。このことから、住民の皆さんに見守られる機会を通じて子どもたちが町に出かけていく、また大人が子どもたちに声を掛けていただくことが安心安全の町への一番の近道だと考えています。一方では防犯カメラの有用性も報じられているため、設置について研究していく良い機会だと思っています。
42	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	石田・弓木	7/9	会場	岩滝小学校は、弊やフェンスがなく、どこからでも学校に侵入できる。不審者も普通に悪さができる。少しずつでも対策してほしい。	不審者情報があると学校やメルマガに情報発信したり、見守り隊やスクールガードリーダーを中心に各学校を廻っています。平成13年6月の池田小事件以降、避難訓練、不審者に対する訓練を定期的実施しています。通学路の安全点検、児童生徒に危険箇所の指摘、注意喚起をしています。町民の皆さんで子どもたちに声をかけ、守り育てという雰囲気作りをお願いしたいと思います。
43	一人ひとりが個性を活かし安心して働けるまち	石田・弓木	7/9	会場	議会便り4月25日の新年度予算の修正案の可決について、シルクプロジェクト事業補助金が予備費に組まれたのは説明不足が原因と思っている。28年度当初予算もシルクプロジェクトが付帯決議で可決され、町民の理解を得られる十分な説明をするようなありながら今回も同じようなことが起きている。事業に対する説明が丁寧なされているのか、プロジェクトの到達点はどこにあるのかを聞きたい。京丹後市でしている養蚕とはどのように違うのか。	シルクプロジェクト推進事業で1043万円の予算計上をしています。地方創生交付金を受けて事業の立案、実施をしてきました。立ち上がりから現在まで、住民や議員の皆様から様々な指摘を受け、議会でも度々、付帯決議を受けてきました。この事業は町、商工会、丹後織物工業組合などの協議会を中心として推進している事業で、この事業体の議論を踏まえて議員にもできる限り説明してきたところです。3月議会では付帯決議がありましたが、6月議会では可決を頂いたため、一定の理解は深まったものと認識しています。町だけでは説明できないこともあり、事業主体の皆さんにも尽力いただき現況に至っています。事業の中身は、桑の葉の栽培、養蚕、繭の販売を主軸とした取り組みを進めています。今年度から本格的に養蚕を始め、その後の繭をお金に変えていくことを主眼としています。繭の活用方法については、食品加工、化粧品、織物など様々であり、活用方法については、繭の販売店を通じて民間にゆだねたいと考えています。京丹後市の養蚕事業では、蚕が食べる飼料は人工飼料で、当町は餌を桑の葉としていまずので、糸の品質が違うと認識しています。また、京丹後市のほうは事業全体がストップしていると聞いています。農業施策で桑を栽培する。養蚕で取れた繭をどのように使うかは販売店で決めるが、町としては繭の販売することで活路を見出す。まず、1年間は、町内で収穫した天然の桑の葉を食べさせて、年に何回か吐く糸を使って年間を通して、どのように販売に乗せるかが第一目標。今年一年掛けて繭を育てることが課題。その成果や大学の先生など専門家の助言を頂いている販路についても良い販路が見つかれば、また、伝えたい。
44	住民が主人公となるまち	石田・弓木	7/9	アンケート	説明が長くよくわからない。	申し訳ありませんでした。次回以降の参考とさせていただきます。
45	住民が主人公となるまち	石田・弓木	7/9	アンケート	町長の説明時間が長く質疑応答の時間が短く感じた。	申し訳ありませんでした。次回以降の参考とさせていただきます。

No	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
46	住民が主人公となるまち	石田・弓木	7/9	アンケート	町の幹部の方の出席について、全員が揃うのも大変だし、減らしてもいいのではないかと住民の意見を参考に昨年度から減らしているとの説明があったが、今回のテーマは住民自治となっていたが、結果的には大雨のあとということもあり、土木と防災関係の質問が多かったように思います。また有線放送では町政全般に対する意見交換で、ありのままに意見をお願いしますとあります。テーマを決めてから長雨が来たのでしかたがないかもしれませんが、今回の場合、建設課や防災安全課関係の人も忙しいでしょうが来ていただいたほうが良かったように感じました。関係者(町の幹部)が多いと詳しい答えがあり質問者が時間的(人数的)に少なくなるかもしれないが。	今回は災害が多く発生したタイミングでの実施でもありましたので、そのような時には集中するであろう質問を想定した職員出席に配慮したいと思います。
47	住民が主人公となるまち	石田・弓木	7/9	アンケート	決められた時間内なので聞きたい事も全部は聞けないし答える方も調べる時間、資料等ないようなので後日聞ける時間を持っていただけないか。出席をした会場での意見や回答はわかるが他の会場での質疑応答がわからない。全地区をまとめるかたちでの懇談会があればいいと思うが検討してほしい。	そのようなことから、このような全体のまとめをしているものです。
48	住民が主人公となるまち	石田・弓木	7/9	アンケート	保育ルームの開設は大変いいことだと思う。開催場所によっては、駐車場が狭くまた天候によっては歩くのも自転車も難しい場合があり、高齢のため出かけにくい方もおられるかと思う。町のほうで送迎等の考えはないか。	そこまでの対応につきましては、考えておりません。
49	住民が主人公となるまち	石田・弓木	7/9	アンケート	どんな課題があるのか、どんなことで困っておられるのか、いろんな声が聞かれて参考になる。	
50	美しく住みやすい安心安全なまち	三河内	7/10	会場	災害について聞きたい。三河内では毎回同じ地区が被害にあっており、秋にもまた災害があるのではないかと心配している。これをずっと続けるわけにはいかないので町として改善方法はあるか。床下浸水ではあるが毎回となると水や砂をかき出すのが大変。毎年奥山川の砂を取っていただいているためこのような被害で済んでいるのではないかと考えるが、土嚢をしっかりと作り、対策等を考え、方針を示していただきたい。	大量の雨が一気に降れば、現在の奥山川では断面不足により氾濫するので流入水を分散させるため、ゾブ川本川の改修を平成12年度から行い、さらに平成14年度からはゾブ川から三河内幼稚園までをゾブ川支川①として整備を行い平成17年に完成しています。現在は、奥山川のバイパス水路とするためゾブ川から三河内郵便局までを支川②として整備を行っているところで、全体350mの内150mが終わっています。今年度はさらに早期完成を目指すこととし、予算を2千万円に増額しています。また、与謝野町全体で見ると、野田川の本川、支川の改修は少しずつ終了しているため平成16年(台風23号)並の豪雨になったとしても堤防が決壊することはなくなっています。しかし中山間地域では土砂崩れが多いため対策を講じる必要があるが、土砂崩れが起きる要因として山林の力がなくなっていると考えており、長期的な視点にたったときに如何に山林を保全していくかも考える必要があります。他にも住民と連携を取りながら避難をしていただくようにしたり、要介護者の方の避難方法、さらには有効な土嚢の確保についても考えていきます。
51	美しく住みやすい安心安全なまち	三河内	7/10	会場	奥山川、ゾブ川に関しては三河内住民全員に改修状況を説明すべき。それで年度計画を三河内住民全員に説明すべき。去年の水害の状況の写真を文化祭に出展したがご覧になった課長方はいますか。いないということは関心がないということ。三河内では床下浸水した方の調査をいつしてくれるのかとみんな不安に思っている。課長等は調査にも来ないし、去年ならすぐ来た。区長等は自家用車で被害状況を確認しに来たのに町は何もしてくれない。土嚢も良いものを買うべき、ネット等に土嚢は3年もつと書いてあったが半年で破れている。奥山川の砂防ダムが埋まってしまっており価値がなくなっているの見直すべき。またゾブ川等の水路を町が改修するときは町民に要望を聞き入れるべき。中々町民の意見を聞いてもらえてない。	ゾブ川については、郵便局横の奥山川に接続するため今年度予算を増額しました。早期に完成させることを最優先として今後も可能な限り予算措置をしたいです。砂防ダムに関しては、管轄が京都府になるため町が実施することは難しいが既設の砂防ダムの浚渫や新たな砂防ダムの設置について協議する必要があると考えています。
52	美しく住みやすい安心安全なまち	三河内	7/10	会場	砂防ダムとは砂が流れてくるのを防ぐ為にあると思っているが砂がいっぱいになると効果はなくなるのか。	治山堰堤は谷斜面の崩壊を抑えるもので土砂が溜まれば役目を終えるが、砂防堰堤(砂防ダム)は管理型であれば浚渫が可能であり、効果を持続させることができます。
53	美しく住みやすい安心安全なまち	三河内	7/10	会場	三河内はなぜ梅谷会館が避難所になっているのか。三河内地区公民館に戻してほしい。	三河内地区公民館の裏手が崖崩れのレッドゾーンになっているため、崩れる可能性があるため違う場所にしています。しかし避難場所が2階であれば崩れても人的被害はないと考えますが、レッドゾーンに指定している京都府及び区長にも意見を伺いながら三河内地区公民館に戻すことについて検討したいと考えています。
54	美しく住みやすい安心安全なまち	三河内	7/10	会場	実際、泥や瓦礫が家の前にあるが撤去等はどのようにすればよいか。	町が回収させていただきます。道路付近で通行の妨げにならないところに置いてもらえれば回収を行います。また床下の消毒も乾きましたら早急に行う予定です。汲み取りについては早急に行っていますので、野田川衛生プラントにお問い合わせください。

No	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
55	美しくて住みやすい安心安全なまち	三河内	7/10	会場	今も災害の関係で家周りが臭い。三河内の水洗率は何パーセントか。	三河内全体ではないが与謝野町でいえば78パーセントぐらいです。たしか三河内も平均ぐらいの78パーセントぐらいであったと思います。
56	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	三河内	7/10	会場	幼稚園は31年度閉園でよかったか。その後の活用方法はどのようになるか教えていただきたい。	31年度閉園で32年度から認定こども園になります。今の在園者が卒業されたと同時に閉園となりその後の活用方法は具体的には決まっていません。しかし町の方針としては利活用できないか考えています。跡地については行政関連施設にしたいと考えています。しかし使用目的が見つからなければ町民に有効活用をお願いして、それでも駄目なら団体、民間という順で活用方法を考えます。どこか借り手があるまでは町で管理していくこととなります。
57	その他	三河内	7/10	会場	山の家を潰してしまうと聞いたので、潰すよりも何か活用できるように考えてほしい。区等で活用できるようになれば町として助成金ができるように検討していただきたい。	廃止していきたいのが町の方針ですので廃止の方向は変わりません。しかし区のほうで活用されるのであればお話を伺いたいです。しかし管理費も含めて町が負担とはできないので、その辺りは相談させていただきたいと思います。
58	美しくて住みやすい安心安全なまち	三河内	7/10	会場	梅谷会館にテレビはあるが使用できない状況である。ただ避難所である為、災害情報が知りたいのでNHKの受信料を町で負担してほしい。	NHKの受信料は町で支払うことができません。CATVに加入していてもNHK受信料はどのご家庭も支払う必要があるため、町が負担するという妙案が思いつきません。他の公民館等ではおそらく、区が隣組で出してもらっていると思うのでご理解いただきたいです。
59	美しくて住みやすい安心安全なまち	三河内	7/10	会場	町の施設であったり他の地域公民館では無料WIFIがあるが、それを設置することはできないのか。	若い方はスマホ等を持っているので災害の情報収集ができると思いますが、公民館全てに無料WIFIを設置できるかと言うとできないのが現実です。今後についても公民館に無料WIFIを設置するのかということとそこまで協議できていないのが現状です。
60	その他	三河内	7/10	アンケート	核計画共に、町は作る人、町民受ける人でなく、共に作り共に受ける関係にしてほしい。	総合計画の作成においても、そのような考え方で作成してきました。
61	その他	三河内	7/10	アンケート	町長や助役がいなくても町政との懇談会をもっと回数を増やすべきと思う。町民に見える町政を作してほしい。	町政懇談会は町長の政策について住民の皆さんと意見交換するもので、町長不在では考えていません。
62	地元を誇りに想い、人の流れを生むまち	市場	7/11	会場	岩滝シーサイドパークの活用について、完成時はクアハウスからお湯を引いて足湯を作る等聞いていたが、現在はほぼ公園である。他の市町村を見習って活用し、町を活性化させることはできないのか。	完成当時から10のプロジェクトを策定し、さまざまな活用方法を検討してきました。訪れてもらうことで与謝野町の魅力を知ってもらえるような観光スポットにしたいと考えています。シーサイドパーク内に商業施設を呼び込み、地域を活性化させたいと考えています。実現に向けて進めていきます。
63	美しくて住みやすい安心安全なまち	市場	7/11	会場	四辻区の下のほうに雨によって削られた山の砂が集まっている。治水工事を下から順番にやるのが鉄則のところを飛び飛びでやっている。川のどこかに砂の行き場を作らないと、(H30年西日本豪雨と比べて)もっとひどい被害が出るのでは。	確かに治水工事は下から順番にやるのが鉄則です。しかし、やれるところからやってほしいという要望も聞きながらばらばらにやっているのが現状となっています。また、今は山が荒れています。山崩れを防ぐために治山堰堤を作っています。府にも現状を確認してもらっており、また、応急処置として土嚢をおく等対応中です。
64	美しくて住みやすい安心安全なまち	市場	7/11	会場	岩屋川の改修をやると聞いているが府がやるのか町がやるのか。(橋が落ちている付近)	河川管理者は京都府であり、護岸が崩壊している箇所については京都府が災害復旧工事として行います。
65	一人ひとりが個性を活かし安心して働けるまち	市場	7/11	会場	シルクプロジェクトについて 1どれぐらいの量の繭が作れるのか。 2採算が取れるような試算になっているのか。ホップ作りもうまくいっているとは思えない。 3事業計画はどうなっている。 4繭の価格は分かっているのか。 5私は1kgあたり1万円ぐらいときいているがそれなりの品質のものを作れるのか。	1作る回数と数によって変わるがある程度の試算はしています。後日資料を添えて回答します。 2新しい産業を興すのは難しいことです。町民の皆さんに協力していただきながら稼げる仕組みを作りたいです。ホップに関しては作付面積、収穫量共に順調に増えています。 3収支の予測は作成していますが不確定要素が大きいです。 4品質によりますが1kgあたり約3万円で取引されています。 5そのつもりです。
66	美しくて住みやすい安心安全なまち	市場	7/11	会場	四辻公民館が避難所になっているが非常食以外の備蓄物が無い。どう動いたらよいのか。	毛布は各地区公民館に20枚保管しています。不足する場合には取りに来ていただくかこちらからお持ちしますが、その時の状況により相談させていただきたいと思います。飲料水に関しては備蓄計画に基づき役場防災倉庫に一定量と各小中学校等に少量備蓄しております。しかし大規模な断水の場合は、給水車で動かしきれないと考えていますが、給水車が動くまで一日ほどはかかります。

No	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
67	美しくて住みやすい安心安全なまち	市場	7/11	会場	1災害発生時の対応だが、一役員が来て何ができるのか。役場から消防団への命令系統はあいまいだし、区が一番に動いているような現状がある。この程度の災害(H30年度西日本豪雨)で右往左往して大丈夫なのか。 2自治防災の話は事前に区長に説明しておくべき。区の予算の都合もある。また、災害時の区民からの連絡が町より先に区に来ることがある。	1現状多数ある避難所に複数人の役場の職員を派遣するのは人数的に厳しいですし、地域の方々の自治防災にお世話にならないとなかなか難しい状況です。復興、復旧は行政主体でしっかりやらせていただきたいと考えています。土囊の数が足りなかったことや連絡システムの不備があったことなどは反省点として今後に活かしていきたいと考えています。 2確かに町より先に区に連絡が入ることがあると思いますが、徹底は難しいと考えています。四辻区は特に、オリジナルの防災冊子を作るなど意識が高く、区と区民との信頼関係がよくなっています。なので、どうしても区に連絡が入るのではないかとありますが、いづれにせよ今現在防災の要は自治防災であると考えていますのでご理解をお願いします。
68	住民が主人公となるまち	市場	7/11	会場	1町の財政について、5年後には赤字になる見通しがあるが人件費を削るべきではないか。また、4年前の町長選で言っていた町長の給与カットや退職金の返納はどうなったのか。 2事前にやるべきでは。そうなってからでは遅いのでは。また、民間との乖離も埋められるのではないかと。新しい事業や施設の維持などの財源のビジョンを示してほしい。	1今でも身を切る必要性を感じています。前任期4年間は給与の5%カットをしていました。15%カットや退職金を減らす議案も提出したが承認いただけなかった。今後についてはまだ考えがまとまっていない状況です。合併時320人ほどいた職員は、現在270人ほどまで減っています。公務員の給与は国によって決められているため簡単には変えられません。現在は考えていないが将来は分かりません。 2そうならないように運営をしていく必要がある。常にカットのことも頭に入れながら適切な運営をしていく。
69	地元を誇りに想い、人の流れを生むまち	市場	7/11	会場	旧加悦庁舎の耐震工事後の活用についてどう考えているか。ちりめん街道を守る会が中心か。資料はあるか。	ちりめん街道との連携を含めて議論中です。10名ほどの委員会で議論中。資料を示すことは可能だと思うので後日提出します。
70	美しくて住みやすい安心安全なまち	市場	7/11	会場	懇談会の資料の中に安心安全を実現するとあるが防犯カメラの設置を考えてほしい。見守り隊も高齢化しており必要だと思う。	現在、公共施設では与謝野駅に設置しているのみで、あとは民間が設置しておられるもののみとなっています。確かに通学路における不安はあると思いますが、見守り隊等のソフト面での対応をお願いしたいと考えています。防犯カメラ以外にもさまざまなハード設備が増えてきていますので研究したいと考えています。
71	一人ひとりが個性を活かし安心して働けるまち	市場	7/11	会場	町のホップを使ったビールの値段が高い。味ももっとおいしくならないか。	今年は醸造方法が変わり、味も変わっている。数も昨年の3000缶から4500缶に増えている。値段のことは役場から言えることではないが、ぜひ試してほしいです。
72	住民が主人公となるまち	市場	7/11	会場	暮らしの便利帳について、作成する業者より協賛してほしいとお願いが来ている。一番小さい広告で一件6万円から。それに対し、一冊を造るのにかかるコストは1000円ほど。集まるお金とかかる費用に差があまりすぎるのでは。また、このような公的な冊子は広告がべたべた張ってあるものより行政主体で作るべきでは。さらに、同業者同士で広告の大きさを比べることになりかねないことも本来の趣旨から外れてしまうのでは。京都府ではまだ半分くらいの市区町村しかやっていないはず。広告を載せたくても載せられないところもある。町がしっかりした冊子をつくるのであれば、今からでも行政主体がよいのでは。	全国的に町の情報誌や広報誌に有料広告をつけるケースはあります。しかし当町ではまだ作ったことがありません。民間活力を活用しつつ、町の情報を伝えていくという趣旨でやっています。今回はこのまま進めさせていただくが、数年後新しく便利帳を作るときはどうか分かりません。市区町村の収入のために町の封筒などに広告を募っているところもありますがすぐに実現できるとも限りません。
73	美しくて住みやすい安心安全なまち	市場	7/11	アンケート	岩屋川線の通行止め、子安庄内線、向岩屋本線 1筆だけの不同意に対して働きかけは町民の不平等 土地収用法、強制代執行後は建設課出席の機会に。	鋭意努力を続けています。ご理解をお願いします。
74	つながりで笑顔未来につむぐまち	山田	7/13	会場	野田川体育館を壊して野田川認定こども園の計画がある。認定こども園ができたときの人数は。野田川体育館はどうなるのか。	200人～240人の定員を想定しています。かえでこども園は、定員180人のところ現在167人。野田川認定こども園の面積は詳細は決まっていますが、基本は平屋建て。場合によっては、2階建ても考えられ、この地域では一番大きな園となります。体育館を含めて面積は7,000㎡あります。ちなみにかえでこども園は、敷地面積が5,000㎡、駐車場がない状況であることから、7,000㎡は、運動場・駐車場を含めると必要な面積となります。野田川体育館は、既存の体育館を活用してもらうことを想定しています。日中の学校体育館の利用は難しいですが、夜は学校の体育館を想定しています、加悦中の夜は空いている状況が続いている状況です。方向性は確認できていますので、各団体の方とどういったことができるかを一緒に考えていきたいと思っています。

No	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
75	つながりで笑顔を未来につむぐまち	山田	7/13	会場	野田川体育館等の施設の統廃後に認定こども園を建設する話がある。認定こども園建設ありきの考え方である。今後再検討される予定はあるのか	以前から野田川地域に新たに保育園等を建設するのは体育館の場所あたりとする話がありました。240人の子供を受け入れると送迎車の件もあります。わくばる周辺は駐車場もあるため、町としてはぶれることなく最適の用地と考えています。閉設する施設の利用者には、丁寧に説明して進めていきたいです。
76	つながりで笑顔を未来につむぐまち	山田	7/13	会場	認定保育園建設は決めている状態。リコールや署名活動で変わるか	リコールされるかどうかは言う立場ではありません。
77	つながりで笑顔を未来につむぐまち	山田	8*1	会場	子供を集約するメリットは地域にとっていいのかそんな教育でいいのか	町が考える教育は、子どもたちが自ら考える環境づくりとしています。多くの子供がいて、いろんな子供を見ながら自ら考える環境づくりができるように施設の合併を目指しています。小さい保育園がダメと言っているわけではありません。
78	一人ひとりが個性を活かし安心して働けるまち	山田	7/13	会場	ホップと桑の問題だが、どこまで町が関わるのか。ビールも高いし・・・。	産業を新たに作るのは難しいです。町内で挑戦したい人がいることで支援をしています。ホップは2年目以降事業主体を民間としています。シルクについても、関係団体が主体となっています。地方創生推進交付金がある間で且つ、進行状況を見ながら支援を進めていきたいです。ホップは自立に向けた段階になってきていると認識している状況です。
79	一人ひとりが個性を活かし安心して働けるまち	山田	7/13	会場	シルクの普及について、イスラム教徒の女性が被る服(ヒジャブ)にするのは。着物にこだわるのではなく。	これから和装業界や洋装業界だけでなく、他からの声がでてくるのではないと思っています。
80	地元を誇りに想い、人の流れを生むまち	山田	7/13	会場	1クアハウスの整備について、健康増進施設であるが町外の方の利用もある、医療施設として拡大しては 2医療機関なら、施設に補助金があたるのではないかと近隣市町村役所からの補助金もあるのでは	1クアハウスは、健康と観光の2つの面があった、今回から軸足を健康としたい。改修は、2階のトレーニングルームを3階にして倍の面積とする。プールの入口の階段が急なので、エレベーターを付けたいと考えている。医療施設としては、北部医療センターと話ししているが、すぐに医療と連携はできない。 2利用客の約4割が与謝野町以外の方である。一般的には市町村は、他市町村の施設に補助はされないが、利用料を変える等は検討したい。
81	つながりで笑顔を未来につむぐまち	山田	7/13	会場	1四国にあるある町は、企業と連携して出産された方に100万円を交付している町もある。町として事業化してはどうか 2町としては何も無いのか	1過去からこのような取り組みをしている市町村があるのは認識しています。現在、国が検討している、幼児教育保育の無償化が同じような考え方になるのではないのでしょうか。 2ここ数年の平均の出生数は150人前後くらい。150人×100万円で1.5億円の財源が捻出できる状況にあるのかどうか大きな課題だと判断します。
82	美しくて住みやすい安心安全なまち	山田	7/13	会場	1河川改修事業はいいが、山が荒れている。山林の掃除事業をしてもらえれば。 2掃除は森林整備として考えていいのか	1今回の雨は土砂崩壊によるものが多いです。土砂災害がなぜ発生するのかについては、森の管理もあると思います。さまざまな方法を組み合わせる必要がある、国・府の森林環境税の話もある。財源の環境は整いつつあるので、所有者や民間事業者と一緒に長期的な視点で進めていきたいです。 2考えていただきたいが、国・府の考え方もあります。農林課に問い合わせさせていただきたいと思います。
83	美しくて住みやすい安心安全なまち	山田	7/13	会場	森の荒廃の理由は	獣害問題が考えられます。加えて、木材価格の低迷もあり、森林を管理する人手の減少や意識の低下が考えられます。
84	美しくて住みやすい安心安全なまち	山田	7/13	会場	砂防ダムが埋まっているので、砂防の土砂の除去をお願いしたい。	農林課も京都府も山に入っています。土砂で埋まっていることは認識はしていますし、場所によっては浚渫もしています。または、新たなダムの建設も考えています。要望があることは農林課も認識しています。
85	美しくて住みやすい安心安全なまち	山田	7/13	会場	上山田石川線は、中学生の通学路である。前回の大雨で雨水がたまる。橋から山田川の舗装の要望をしているがなかなか実施してもらえない。整備予定は	限られた財源の中で町全体を見て判断していますのでご理解いただきたいです。
86	美しくて住みやすい安心安全なまち	山田	7/13	会場	水戸谷から大宮にかけて街灯がない。また、街灯が切れているものもある。	平成30年度の新設予算はありません。外灯が切れているものについては確認し修繕します。(ただし玉交換は区、器具交換は町)
87	美しくて住みやすい安心安全なまち	山田	7/13	会場	今回の豪雨で水戸谷に倒木がある。また、鉄橋の上流の水道設備からお寺までの水路と水戸谷の浚渫がしてほしい。水戸谷川は、府の管理河川であるが府がしてくれない。水路の浚渫をしてもらわなければ、農業ができない。	広範囲で被災していますので完璧な対応はできていないです。申し訳ないですが、農林課と相談していただきたいと思っています。できるような対応をしていきます。

No	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
88	その他	山田	7/13	会場	ふるさと納税の状況は。PRをされてはどうか、あまり聞こえてこない。	H28年度から返礼の品を見直して、H27年度は、数百万であったが、H28年度から約3,500万円、H29年度は約4,600万円と伸びています。 上山田地域には、多額のふるさと納税がはいつています。本町にゆかりのある方は、納税が一定数あるので、方法を考えることで力を借りれることになるのではないかと考えています。
89	その他	山田	7/13	会場	特定失踪者が約800名あると聞いている。与謝野町にいるのか原因としては、自衛隊が動けないのと考えている。町長の考え方は	与謝野町にはいないと考えています。日本政府は、激動する朝鮮半島を考えるには議論することが大切であるとの見解です。日本政府には、北朝鮮とのパイプを太くしていただきたい。自衛隊は、なぜ動けないかは憲法があると認識しているが、憲法9条をいかに考えていくか、条文としてどう行くかは勉強していきたいと考えています。
90	美しくて住みやすい安心安全なまち	山田	7/13	アンケート	ポイ捨てゴミ多いところにカメラをつけてほしい。	ポイ捨てが多いところは、看板の設置をお願いしています。 看板は野田川片倉舎住環境課で、無料でお渡しさせていただいています。
91	美しくて住みやすい安心安全なまち	山田	7/13	アンケート	町営住宅の住民の入居の場合、氏名および家族人数等を区の方に提出するようにはできないものか。	地区活動に必要とされてのことだと推察しますが、個人情報であるため役場からは出せません。
92	住民が主人公となるまち	山田	7/13	アンケート	今回の懇談会の場合、職員は災害後のためにもっと関係職員の出席にならなかったのか。	災害とは関係なく、割り振りを行ったことによるものです。
93	地元を誇りに想い、人の流れを生むまち	山田	7/13	アンケート	空き家の件で持ち主の話し合いでいろいろな地方の被災者にもっと利用しておらう方法がないものか。	与謝野町内の空き家の利活用については、空き家バンクの制度を設けて、所有者から登録希望のあった空き家情報をHPや都市圏での移住定住のイベント等で発信し、空き家の活用と移住者の受け入れについて取り組んでいます。このほか、京都府北部の7市町で連携協力して情報発信や人材育成等について取り組み、圏域への移住定住促進の取り組みを進めています。
94	美しくて住みやすい安心安全なまち	山田	7/13	アンケート	ゴミ袋の値上げはしょうがない。上げ幅は少なくしてほしい。 建設中の焼却場の内容(大きさ、規模など)を知りたい。	ごみ袋の価格については、減量実績に応じて検討させていただいています。新広域ごみ処理施設については、敷地面積約12,000㎡、ごみ焼却施設とメタンガス化施設の建築面積は約2,800㎡、マテリアルリサイクル推進施設の建築面積は約2,200㎡になります。
95	つながりで笑顔を未来につむぐまち	山田	7/13	アンケート	認定こども園事業については反対です。30年度予算についても見直しをしていただきたい。	認定こども園化を計画通り進めたいと思います。
96	美しくて住みやすい安心安全なまち	山田	7/13	アンケート	河川について根本的な改修をお願いしたい。	根本的な改修は野田川本川から順次行わなければならない莫大な費用と年数を要します。現在、京都府では支流河川の改修を継続して行っているためその後の話となります。
97	美しくて住みやすい安心安全なまち	山田	7/13	アンケート	山の地主に土地について確認を	平成31年度から「新たな森林管理の仕組み」が始まります。具体的な内容は国、府で検討の段階ですが、森林の将来に係る問題を住民と共有し得る体制を整えていきたいです。
98	住民が主人公となるまち	山田	7/13	アンケート	全ての面で町だけの予算ではできないことが多く、できる限り府からの補助金を調達してほしい。	おっしゃるとおり、国や府の支援、助成を常に念頭においています。
99	地元を誇りに想い、人の流れを生むまち	岩屋	7/17	会場	女性のことしかわからないが、泳いだ後、裸浴に据え付けてある洗面器で水着を洗っておられ、10年ほど前に年間会員権を買ったが、それを見て利用しなくなった。1年ほど前に利用したが、また同じ光景を見て、恐らく常連の女性2名だと思うが、水着のままお風呂に入っただけで水着を洗っておられる。衛生的に良くないと注意をしたが、前から洗っていると言われた。こういった状況があるから利用者が増えないのではないかと 観光客の方も利用されておられ、そのような光景を見られると驚かれると思う。フロントにも話をしたが、わかっているとされたが、若いスタッフが多いので強く言えないのだろう。	クアハウス岩滝の設置者は町ですが、施設の管理運営は指定管理者制度を導入し、5年間の期間で委託をしており、直接町の職員が関わっていることはないですが、責任は町が持つことになるので、その状況を担当が聞いているのかを確認し、不愉快に思われることがあれば利用者の減少に繋がる可能性があるため、注意するように管理しないといけないうので、しっかりと担当課に繋がります。 水着のまま裸浴に入ることや裸浴で水着を洗うことについては、そういった利用者がある度に指定管理者から注意させていただいています。また、注意喚起の貼紙も掲示させていただいています。 今後についても、気持ちよく施設を利用していただけるような施設運営に努めていただくよう、指定管理者に伝えます。

No	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
100	美しくて住みやすい安心安全なまち	岩屋	7/17	会場	<p>去年質問をしたが回答をいただいていないので改めて確認の意味で質問をさせてもらう。一点は、今建設中のゴミの処理場で、バイオマス発電について聞くと、担当者が不在で詳しいことは分からないということだった。ゴミの分別について、与謝野町の方はかなり細かく皆さん努力をされているが、先ほど生ゴミ処理機の補助の話があったが、逆に今度は、生ゴミは生ゴミ、燃えるゴミは燃えるゴミ、という形の分別がたぶん始まるのだらうと思っている。生ゴミは家で処理するのではなく、ゴミを出していただいた発電のほうを優先されるのか、建設が終わり可動するまでに住民が理解できる説明をお願いしたい。</p>	<p>まず、一点目の新しいゴミ処理施設の関係で、基本的に新しい施設については、生ゴミを処理して発電する手法の施設になります。したがって生ゴミの量は一定確保しないといけないことになるが、各家庭で生ゴミとそれ以外に別けるということは今のところ考えておらず、今までどおりの燃えるゴミで捨てていただき、施設の機械で生ゴミとそれ以外に分別することになります。ただ、与謝野町、宮津市もそうですが、量を減らせばそれだけ負担金が変わってくるので、できるだけ補助をつけているコンポストや生ゴミ処理機で家庭で処理していただければ、生ゴミを出す量が減るので、町全体とすれば負担金が減っていくことになります。ゴミの減量化が即運営費に反映するので、引き続き出すゴミを減らしていただくという運動は新しい施設ができてもらっていききたいと考えています。</p>
101	美しくて住みやすい安心安全なまち	岩屋	7/17	会場	<p>二点目は、原発のことを質問させていただいておりまして、町報のほうには一向に載っていないので、質問として捉えていただいていないのかなと思っていましたが、改めて言わせてもらいますが、関西電力の原発が3基、4基可動しているので、万が一のとき与謝野町としてどういった手順で、どういったレベルのときに、逃げてくださいますよ、と。町民に対しては、どういった手順で、どういったレベルで、どういった逃げ方を、皆さんご理解くださいよ、ということを確認していただきたいと、確認していただいたことを町民にちゃんと報告をお願いしたいと、一年前にお願ひしましたが、私の認識不足かもしれないけれども、ちょっと私も認識ができていけませんので、そういった問合せをいただいたのか、いただいていないのか、まず去年の質問の中でお願いしたいことです。</p>	<p>はっきり申し上げまして、昨年と比べて計画ができてたり等の進展はなく、住民の方々にも行動計画をお示しできる段階には至っていません。昨年申し上げたと思いますが、国が示す原発から30kmのエリア内か外、これがUPZ内と外に地域指定がされています。国が定めているのは、まずは30km圏内から避難行動をするということで、30kmエリア内については、それぞれの自治体で避難行動計画を立てております。30km圏外については避難行動をしなくてもいいのかということになりますが、特に与謝野町の場合、阿蘇海の途中がちょうど30kmエリアになります。ほとんど面しているに近いような状況の中で、有事の際には同じだろうということを京都府に申し上げており、京都府の見解も聞きに行かせていただいたことを覚えております。しかし、どこかで線を引かないといけないということで、国や京都府は一旦30kmの内側と外側については線引きをして、30km圏外のところについては、避難行動計画を求めているものではないという立ち位置でした。ところが、町長の見解は議会でも申し上げておりますように、だからと言って避難行動計画を作らなくてもいいという考えはもっていない、ということを言われており、私どもの計画を作っていきたいということで、色々情報を入手したりしていますが、詰まるところが、有事の際に避難する場所、受入れていただく場所がなくて、いくら避難をしたいといっても、受入れ側の都合があるので、まずそこがないと避難行動計画ができないというのが一番苦しい点です。今の原発で考えると、風等を考えたときに西側の南側に逃げるのが鉄則で、兵庫県でいうと播磨地方になり、割りとそちらの方の町と、災害応援協定を結ばせていただきましたが、その市でさえも、原発の避難地域としてというのは敷居が高いものがあります。京都府の見解は、広域に考えるべきだから関西広域連合がイニシアティブをとって有事の際は指示をします、ということを行っています。町長が言っておられるように、何らかの形で避難行動を住民の方々にお示しする必要があると思っているところではあります。そこまでは至っていないというのが現状でございます。誠に申し訳ございません。</p>

No	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
102	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	岩屋	7/17	会場	<p>三点目に、今年度から道徳教育が義務化になり、教科として評価対象になるという報道が一部、なぜが大体的になぜか言わないが、非常に将来的に不安が、感覚的なものなので、教育長に町の対応の仕方とか、非常に問題の多い文部科学省から国の方向性として各市町村が逆に反発するという言い方は変ですが、対応が可能なかどうか等についてお聞かせいただきたい。</p>	<p>皆さんのご承知のとおり、私が小学生のときだったが、昭和33年頃に道徳の時間が設けられ、記憶しているのはラジオの放送を時間中に聴いていたことで、皆さんがどのような道徳の時間を体験されていたのかわかりませんが、道徳の時間というのは心の教育をしていく上で非常に重要であると言われていたが、道徳の時間という時間、これは教科ではないので、端的にいうと各地域や学校に委ねられていたということが実情です。しかし、近年、与謝野町内、京都府におきましても道徳教育の重要性については重視しておりますので、意欲的に取組をしてきたが、どうしても資料の読み取りのような部分で終わっていたというのが悲しいかな現状だと思っています。大きく動き出したのが平成22年の大津市の中学生がいじめによって命を落とす大きな事件が起こりましたし、それ以前もちよちよくあり、それ以後も皆さんもご承知のとおり新聞報道等でその問題について、心を痛めたことも実際ありまして、このことを何とかして、いじめ問題だけでなく、情報モラルの部分など、できるだけ早い段階で特別な教科「道徳」という形をとりたいということがございまして、昨年度小学校の道徳の教科書採択が行なわれまして、今年度から先行実施ということで、各小学校で取組を進めております。教科書を使っての道徳を進めているということですが、小学校では特に動作化といまして、例えば劇のようにその人物になりきって、本当に自分だったらどう考えるかということを考えていったり、グループによって私はこう考える、僕はこう考えるということを議論して、応えは一つじゃなく、こういう考え方もあったのかということや学んでいき、かわったこと、学んだことを振り返りノートのようなもの書き込みながら実際に進めているのが現状です。いわゆる資料の読み取りから考え、議論する道徳へといっており、今年は中学校の教科書採択の年になり、来年度から実際に先行実施し、できる限りやって生きたいと思っています。私が江陽中学校で勤務している頃は、赤ちゃんポストという、熊本県の病院があるが、その是非か非かを生徒が議論する指定校だったので、勉強したことがあります。昔のようにこうあらねばならないというのではなく、自分だったらどう考えるかを議論しながらやっていきます。その経過を記入していき、ご指摘の通りこの授業は学級担任が授業します。人間関係のある担任とのやり取りの中で、道徳性をどのように学んだかということや評価に書いていこうと、数字出ではない。だれだれ君はこのようにこういった授業でこのように学んでいたというありようを通知表等に記入していく。まだまだ不十分な点があると思いますが、そういった評価を今目指して研究をしています。ただ、与謝野町におきましても道徳教育の研究は前々から進めてきているので、ただ教科書を使ってのということが今年はずめてですので、これからも研究を進めて参りたいと考えています。</p>
103	美しく住みやすい安心安全なまち	岩屋	7/17	会場	<p>二点目の質問への回答後) 原発のところで、私のいい足りないことがあった。先日の大雨で四国の大洲市のダムの放流が2基あって、下流の市町村の川がえつ流して5人の方が亡くなられた。その責任は国土交通省がダムを管理しているが、現時点では責任はないと、その言い訳は、手順は踏んで適切な手順にのっとって放流しました。その結果、住民の方に被害があっても私たちは知りません、住民の方の認識が低かったのではないですか。というテレビの報道がありました。本当にびっくりした。これが今の政府の考えでしょうし、行政の考え方ですか、そこが一番原発についても疑問なんです。私が去年も質問したのは、町が関西電力にといいました。防災協定とか関西広域の原発の関係については聞いていない。避難所のことも聞いていません。どういったときに、どういった事故がおきて、どういったレベルが、きちっと住民に伝わる手段を関西電力に確認してください、確認できないはずがないでしょう、安全な原発を動かしているんでしょう。方が一になったら住民に対して、家にいてください、外に出ないでください、これが避難なんです。この避難ができない現状で、やみくもに播磨のほうに行って被災された、今回の福島原発の皆さんはそうです、情報がないんです。情報だけなんです。そこだけを確認してください。与謝野町が関西電力にそれをお願いします。</p>	<p>原発関連のご質問にお答えしたいと思います。 昨年ご質問をいただいた際に同様のことをお返しさせていただいたかもしれませんがご容赦いただきたいと思っております。 仮に、福井県に立地をする原子力発電所において、想定をしていなかった事態によって、例えば原子炉が溶融するといったことがあった際に、どのように放射線における被曝の可能性が広がっていくのという、そのときの気象条件に左右をされる、あるいは、その事故の大きさによってその被害の想定も変わってくると思います。そうした関西電力からの情報を提供いただくというのは、これは当然のことであると思います。その情報に基づきどのように住民の皆様方に対し避難の行動を即していくのかというのは、市町村の責任にあると考えています。先ほど小池課長からもご説明をさせていただいた現状の中で前進を図るべく努力をさせていただいているのが現状です。そして関西電力さんとの協議ということですけれども、この点につきましては定期的にさせていただいております。</p>
104	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	岩屋	7/17	会場	<p>三点目の質問への回答後) それと、教育長さんが担任の先生が評価をする、こんな酷なことを今の教育をされるんですね。どれだけ今の小学校・中学校の先生がどれだけの時間仕事をされているんですか。それでまた個別の評価をさせるわけですよ。こんな酷なことをされるのを教育委員会として受入れられたのですか、ということが本質的な質問でした。</p>	<p>働き方改革につきましては、教員の働き方が非常に厳しいと、これは教員に限らずあることであると思うが、その点についてもできる限り意識的に教員の勤務時間の短縮に向けて取組を進めておりますけれども、道徳教育については、子どもたちを十分知らない先生がしていても、常日頃の児童生徒の動きが分からないので、道徳の授業をしておりながらも心の変化、常日頃の行動の変化をキャッチできるのは担任教師しかないと考えていますので、担任が実施することになっています。確かに多忙だと言われればそうなんですけれども、そのために常日頃の記録の蓄積をお願いしておきたいと考えております。</p>

No	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
105	美しくて住みやすい安心安全なまち	岩屋	7/17	会場	色々な危険区域がたくさんあると思いますが、通学路の件ですが、市場小学校に編入になって3年目になるが、横断歩道になぜそんなに時間がかかるのかと思っている。本当に目に見えて危ないことなので、やり直してほしい。	横断歩道の設置要望については、今回の要望カ所の少し但東町側に設置した経過があり、宮津警察署も対応したという認識でいます。今回要望カ所は、設置した横断歩道と近すぎるため設置する理由がないとの認識ですので、できていない状況となっています。今後は、これらの問題を解決するために宮津警察署と協議し、設置できるよう取り組んでいきたいと考えています。
106	美しくて住みやすい安心安全なまち	岩屋	7/17	会場	1一点目は、この大雨で、町の直接の管轄ではないですが、府道宮津養父線が長い間通行止めにされた。以前からこの道の改修についてずっと要望があるので、関係機関、豊岡市、与謝野町でどのように進んでいるのかをかわる範囲出お聞かせいただきたい。 質問1回答後) 宮津養父線は「府道2号」で、但馬に抜ける主要道路なんです。あと加悦奥峠は不通で、奥滝峠は通れない。そうなれば、3本ともベケになるのは交通の面から見るといけない。ですから、ここの道路を何とか120mm超えてますので通行禁止というのがだいぶ長く続いたの、そこをやっぱり解消するよう府のほうに大きく働きかけをしていただきたい。	宮津養父線(岩屋峠)については、これまでからご不便、ご心配をおかけしています。そのため与謝野町、豊岡市、宮津市で首長、地元議員、地元区長などの構成による改良促進協議会を組織し京都府に対して毎年要望活動を行っているところです。今年度は京都府知事選居の関係で具体的な予算額が不明であるが情報によると現場に着工すると聞いています。具体的になれば区長さんを通じて地元への説明があると思うのでお待ちいただきたいです。少しずつでも改修が進んでいることは事実です。 質問①回答後の質問に対して) 着工されれば事業が止まることはないと思うので、促進協議会を中心にこれまで以上の予算確保に向け国、府に強力に推し進めていきたいです。
107	つながりで笑顔を未来につむぐまち	岩屋	7/17	会場	2二点目は、来週にわーくばるで町の社会施設について説明があるが、認定こども園の話について説明があったが、加悦地域については平成33年度開園、野田川地域については平成34年度開園と話があった。その場合にわーくばる周辺の改修についてどこら辺まで話ができているのかをお聞かせいただきたい。	認定こども園の関係で、これまでに関係者、野田川の体育館・中央公民館がございまして、直接利用されている皆さんを対象にした説明かは週日野田川と加悦でさせていただいた。非常に多くの皆さんに参加いただいて、ご意見等をいただいたところですけども、町から説明をさせていただいたのは、今の体育館なり中央公民館、あそこには給食センターもあります。これらの施設が非常に老朽化していることもあるんですが、それと同時に併行的に認定こども園の話は少し早く平成22、23年頃から進んできた中で、その中で各地域に一つずつの認定こども園に集約していくという方向性を「子育て会議」出していただいて、それに基づいて計画を進めてきたわけですけども、最終的にどこに建てるのかというのが問題なんです、かたや町の公共施設の今後のありようを見ていると、合併した町はどこもそうだが、同じ施設がたくさんあって、それを老朽化に伴って全てを改修してことはできませんので、野田川地域をみますと、認定こども園を建てる中で、与謝野町の中で大きな規模になる。240人定員の規模になる予定で、非常に多くの保護者の皆さんが送迎の車が行き来するということと、できるだけ野田川地域の中で中心的な場所と考えますと、町として新たな土地を求めて建てていくということはありませんので、今の公共施設を統廃合しながら新しい施設を建てるにしても町有地に建てるという考えでいますので、丁度、野田川地域ではあの一帯が一番よいのではないのかなという結論になりました。あそこに認定こども園を建てたいということで説明に回らしていただいたということなんです。 認定こども園で240名規模になりますので、今の岩滝にできた認定こども園が180名定員で、加悦にできるもの同じくらいで、野田川が一番大きいということで、園庭も広くるので用地的にも一番になり、わーくばるを除き、他の施設が建っているところを全部使う予定を描いておりますが、まだ具体的な設計はできていませんので、具体的には申し上げませんが、何とかあそこを利用されている皆さんにご理解をいただく中で、この話がスムーズに進めればと思ってまいりますが、中々町民の皆さんの意見を全く無視するわけにはいかないで、これから丁寧に説明に入らしていただきたいと考えております。

No	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
108	つながりで笑顔未来につむぐまち	岩屋	7/17	会場	質問2回答後) はじめて240人という数字にびっくりしたが、比較の問題で加悦や岩滝が180人という点からすると、私は最高でも240人集めることはこれかと思うところです。体育館等が十分古くなっていることはわかるが、240人を集めるという点についてはちょっと・・・と思うところがある。だったら、120人、120人くらいの規模で市場保育所にしろ、山田保育所にしろどっちかへ集約する方法はなかったのか。実際、もっと多いかもしれません、京丹後市はすごいことになっている。小さい子どもを扱うときには目が届くように細かくしたほうが、という思いがある。小学校の問題につきましては、8人や10人ではあれですから、適正規模もあると思いますけども、認定こども園とすればちょっと人数が・・・という思いがします。	質問2回答後の質問に対して) 岩滝の認定こども園の定員を180人と申し上げましたが、実際は16名ほどになっています。240名の定員なんですけど、マックス240名になることはならないと思っておりますが、基本的にその規模感で両方計画しています。おっしゃいますように、それだけの大人数に目が届かなくなるというところは、研究しながらそういったことがないように、どんなことができるのかということもあるんですが、かたや保護者の皆さんからのニーズも高まってきておりまして、例えば土曜日と日曜日もみてほしいという要望が最近非常に多くなってきてまして、今の細分化された保育園では中々対応しにくいですが、集約した中で日曜日というのは中々ハードルが高いのかもしれないが、土曜日保育みなたなことは考える余地があるのではないかと、色々な面で集約してできるだけいい形ができるようにしたい。野田川地域を二つに割ってという発想は、平成22、23年頃からは各地域に一個ずつで進めていますので、今のところは小分けにしていうのはないんですが、いただいた意見がいかに解消できるかは大事だと思っておりますので、走りながら検討していきたい。貴重なご意見ありがとうございます。
109	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	岩屋	7/17	会場	先ほどの認定こども園に関係するんですが、そのことについて教育施設の統廃合についての説明会が先日ありまして、聞かせていただいて、野田川体育館とか中央公民館がなくなります、新しく作りませんと聞かせてもらっているが、そのことについて、現在、体育館でできていること、中央公民館できていることが、いただいた資料のP2の総合計画の7つの部分の5の教育・文化・スポーツに触れるかと思いますが、生涯教育といいますが、体育館がなくなる、しかし、今できていることができなくなる、中央公民館についてもそうなんですが、そのことが生涯教育・文化面・体育面については説明会での説明としては聞きましたので、方向性としてはわかっているが、わーくばるや近くの体育館に散らばってやってくださいよ、ということ聞いたが、そのときはなかったが、町民の生涯活動・教育について町長の考えを聞かせていただきたい。	(町長) 私達が生涯にわたって学び続けるということは大変重要なことだと思っております。特に文化・スポーツこれらの営みは、本当に私たちの日常を豊かにしてくれると同時に、人生を有意義なものにしていくものだと思っております。文化・スポーツの振興に関する環境整備という大変需要であるということは論を待たないというふう思います。現在、各地域公民館、各施設において展開されている文化・スポーツ取組が交代しないように私たちとしても工夫をしていきたいと考えております。しかし、先ほど申し上げました野田川体育館の活用につきましては、現在も屋根の老朽化などに伴う形で大変皆さんに不便をかけていることもまた事実です。そうしたことを考えたときにいかに各種ご利用者の皆さんと代替案について調整できるか、その代替案をもってより活動に支障がないようにしていくかということが大変重要であると考えておりますので、今後の重要な議論に位置づけまして、皆さん方と対話を重ねていきたいと考えています。 いずれにせよ、文化・スポーツということについては、これからはますます重要になってくるのではないかと思っております。そうした住民の皆さんの意欲を減退させないような形の展開を図れるように私達としても努力をしましりと考えておりますので、この点については忌憚のないご意見を賜りたいと思っております。
110	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	岩屋	7/17	会場	これから未来を考えていく上で、キーワードは健康長寿だと思う。少しでも介護に係っていかないようにするためにも、スポーツができる施設が欠かせないと思います。そこをしっかりと考えていかないと、精神的なところで、町民を支えていくことが大事だと思いますので、健康長寿というキーワードだけは忘れてほしくない。 認定こども園について、他にもある保育所がなくなるといことで、跡地利用についても並行して考えていないといけないと思います。	健康長寿については、本当に重要になってくると思っております。私たちが人生100年生きるといわれている時代において、いかに健康維持をしていくかは私たち自身の幸福に繋がっていくものと思っております。そうしたことから住民の皆さんが一人一人が健康であり続けるためのご努力をいただいている、そのご努力に対し伴走をさせていただくというのは当然のことだと思っております。できる限りの環境の構築に向けて努力をしていきたいと思っております。 新たな認定こども園の園舎の建設に係りましては、旧野田川地域の保育所・幼稚園を一本化していくという考え方になります。その後の跡地利用につきましても、同時並行的に進めていかなければならないという指摘はごもっともだと思っております。私たちとしても行政として使えるかとか、地域の皆さんに開かれた施設にしていく、また施設利用が望めない場合は民間への譲渡や売却、こうしたことについても議論を進めていきたいと考えております。私の思いとしましては、子どもたちが集った場所が、私たちが想定していない形で寂れていかなないように努力をしていきたいと思っております。

No	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
111	一人ひとりが個性を活かし安心して働けるまち	岩屋	7/17	会場	資料のP6の左上の商工六次産業化推進事業についての内容について説明をしていただきたい。最後のページの財政状況をみると非常に寂しい状況になっていますので、町長から一言いただきたい。	事業名が農商工連携六次産業化推進事業ということで、このお金につきましてはこの6月議会で補正予算で肉付けをさせていただきまして、可決をしていただきました。お金の中身につきましては、大きく3点あります。 まず「販路開拓等支援」というのは、例えば町内の農業生産者の方や、商工会のほうでも新しい産業づくりということで農商工連携の展開をされておられます。そういったときに町の個人・事業者の方が、たとえば町内の優良な農産物を加工をしたり、また、独自に農業産品を市内等や都市部等で販売イベントなどをしていく場合の補助金を準備をしている。 続いて、「移動販売支援」は、ハード整備事業とソフト事業とがありますが、与謝野町で阿蘇ベイエリアマスタープランができており、阿蘇海周辺の阿蘇シーサイドパークでのマスタープランというものができておったわけなんですけども、その事業推進の一環としまして、農産物などを加工したものをキッチンカーや産品等を販売する車両が主流で、各地域でPRなどをされている町があるんですが、そういったことを民間の方がやってみようというときに、その支援金として補助金を準備をさせて頂く制度準備をさせていただいた。これから募集をする準備をしているので、ホームページなどでも7月の後半になると思うがご覧ください。 前期4年間の平成26年から30年に至まで、産業の生産・加工の分野について一定の投資を行ってきたと考えております。今後におきましては、これら強化をした基盤を基に販路を拡大していく、また、様々な商品開発を行っていくことについて支援をさせていただきたいと考えている中で、事業の構築とご理解いただきたい。 資料のP18に与謝野町の財政状況ということで、一般会計の収支不足額と借金残高の推移ということで記述をさせていただきました。当初予算で取り崩した基金を決算時において補填できなかったと想定した中で、基金の推移状況になります。私といたしましてはこのような事態にはならないと考えています。収支、そして決算、双方をにらみながら健全な財政運営ができるように努力をしてきたいと思っています。 ただし、健全な財政運営を行っていくためには、先ほど来、ご紹介をさせていただきましたような公共施設の統廃合、公共料金の改定、また事業全体の縮小、私たちの給与削減等、これらを行っていかねばならないと考えております。こうした一つ一つの事業を確実に展開をしていくことによって、よりよい状況で財政を未来に渡すことができるようにさせていただきたいと考えております。
112	美しく住みやすい安心安全なまち	岩屋	7/17	アンケート	災害時の孤立化を危惧しています。京都縦貫道はすぐに渋滞しますし、通行止め。緊急の避難経路が確保できないと思います。	広域的な観点で言いますと、国道、府道については、緊急輸送道路として京都府が指定し、整備を進めていく予定としています。
113	住民が主人公となるまち	岩屋	7/17	アンケート	意識共有。町の方向、キーワードを職員と町民で共有することが活性化の原点だと思います。各地区で要としているワードを調整して具体的にすると進みやすい。わが地区のキーワードは「○○」です	そのとおりであり、貴重なご意見と認識しています。
114	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	岩屋	7/17	アンケート	虐待人数の多さにびっくり。「親教育」をさらに充実しても子どもに目を向けることより親の方が…健康長寿が一番との言葉がありました。高齢者向けのスポーツ施設の充実を。	既存のスポーツ施設などを活用して健康づくりを頂きますようお願い致します。
115	住民が主人公となるまち	岩屋	7/17	アンケート	岩屋小学校の廃校、校舎利用をお願いします。	
116	美しく住みやすい安心安全なまち	岩屋	7/17	アンケート	消防団の再編はもっと大胆にされると思っていました。各分団の人数を考慮した大胆な再編を再度お願いします。	今回の再編は、旧町域で編成した方面隊を解消し、火災の実情に合った出動区分となるよう実施しました。消防団員の確保が難しくなってきていますので、人員の推移を見ながら今後の再編を検討していきたいと考えています。
117	美しく住みやすい安心安全なまち	岩屋	7/17	アンケート	岩屋川線の問題を強制でもお願いします。	鋭意努力を続けています。ご理解をお願いします。
118	住民が主人公となるまち	岩屋	7/17	アンケート	イベント、企画はオープンに発信願います。	そのように努めていきます。

No	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
119	美しくて住みやすい安心安全なまち	石川	7/18	会場	<p>昨年の10月、大雨による裏山の倒木により家屋敷66坪が壊滅状態。倒木は所有者が撤去することとなっているが、所有者が不明のため現在に至る。農林課、税務課にも相談に行ったが、地図は、番地、形状も現場と一致しない。農林課の地図は、森林組合のものと同じ。一般には配布しないこととなっている。税務課の公図は法務局のものと同じ。いずれも、現場と一致せず、所有者特定には役に立たない。税務課、農林課とも相談したが、地元の長老、近隣の所有者に寄ってもらって確定するしかないと言われていた。先月末に近隣地権者等に集まってもらおうと考えたが、来てくれない人もいて、境界確定ができていない状況。</p> <p>民家の近くの山や土地の所有者が分かるようにしていただきたい。今後土砂崩れ等が起きないとも限らない。</p> <p>防災安全課に罹災証明も発行してもらえたが、これは29年度。いちど認定しているので、年度を越えても大丈夫とは聞いている。しかし、改修は9か月間も何もできていない。京都府からの補助金を受けることができると聞いているが、(改修できないまま)このまま31年度を迎えたら、どうなるのか。</p>	<p>切実な思いを聞かせていただきました。できる限りの努力をしていきたいが、難しいのが現状でございます。しかし、この経験から学ぶことができるのが、地籍整備、林地の所有権の確定だろうと思います。近年その重要性は認識していますので、できる限りのスピードの中で対応したいと考えています。そして、このような事態が再度ないようにしていきたいと思えます。</p> <p>罹災証明については、京都府の制度の補助金のお話だと思います。29年度の災害に対する地域再建被災者住宅等支援事業(府制度)は、3年以内に完成しなければならないことになっています。再建の方針が決定しましたら申請書を提出していただきたいと思えます。</p>
120	美しくて住みやすい安心安全なまち	石川	7/18	会場	<p>けりがついたらすぐにでも家屋の取り潰しと倒木撤去をしたいが、法律でできないことをはじめて知った。所有者でないと撤去してはダメと言う事でそのまま置いてある。境界確定をしようとしたが、近隣所有者に集まってもらえなかったため、法に逆らっても自分で撤去しなければならないのかなとも思いながら、解決の道を探している。</p>	<p>再建の方針が決定しましたら申請書を提出していただきたいと思えます。</p>
121	美しくて住みやすい安心安全なまち	石川	7/18	会場	<p>この前の大雨でたくさんの個所で氾濫した。石川は陸の孤島だった。各地区の総代も頑張ってもらった。</p> <p>店舗等の関係もありさらに遊水地が少なくなる。水がつく範囲が広がっていく。言い出すと、野田川の改修からしてこないといけないが、この水害を防止するために、水利解析調査等やっていただいて、全体的にどうしたらいいか、いちど画を書いていただきたい。10年、20年かかるかもしれない。30年40年先を見越した水害対策をそういう事をしていただきたい。返答はよろしいです。</p>	
122	美しくて住みやすい安心安全なまち	石川	7/18	会場	<p>川上地区として、災害にかかわって避難所になる公民館の安全確保のための奥山側の改修、そこの橋の改修をお願いしたい。去年も、今回も奥山側が公民館前で溢れる。すぐ前の橋の所で、川の断面が半分くらいあります。そのために、水が橋の欄干に引っかかって道路にあふれて公民館の駐車場に流れてくる。去年も今年も水があふれて公民館に避難できない。避難すると、出ていけない。3時間程度は缶詰めになる。どういった対応策があるのか分からないが、緊急に対応してほしい。このような豪雨が続くとなると、住民の地区の拠点であるから、安全を確保してほしい。</p>	<p>この件については、役場で事前に聞いていたので、河川管理者である京都府丹後土木事務所に確認しましたが、河川は局所的な改修はしないとのこと。局所改修ではその下流に被害が広がる可能性があり、全体の整備計画を立て下流から整備しないと効果が出ない。他の方法として町道橋である高浪橋の架け替えを町が行うということがあるが、その場合、橋の高さを河川護岸より相当高くすることが義務付けられ、橋だけ盛り上がった形となることから現道にすりつかないのでもできません。ですが、今後も可能性を探り解消に向けて努力をしたいと思えます。ご理解をお願いします。</p>
123	美しくて住みやすい安心安全なまち	石川	7/18	会場	<p>今の回答で、部分的にはできないのであれば、奥山側はどういう状態であって、どういう方向にやろうとしているのか、具体的なプランはあるのか。橋の上下だけでなく、たくさん崩れている。部分部分で改修をせざるを得ないから改修しているが、そうじゃなくて根本的にやるとすれば、その問題意識は、どういう風にして行くか、明らかなものはあるのか。</p>	<p>結論から申し上げますと奥山川の具体的な計画は京都府から聞いていません。計画を立てる場合は本川の野田川の計画に合わせなければなりません。野田川の本計画は30年に1度の降雨量に対応できる断面となっていますが、それでは100年計画になってしまい効果が出ないので、実際には、川幅は30年1であるものの中の掘削は23号台風にも耐えうる5年に1度の降雨量に対応した断面で改修を続けています。したがって、支川についても5年1であり、香河川も同様です。現在は、大きな浸水被害が出ている加悦奥川を完成に向けて整備を行っているところで、香河川のさらに支流となる奥山川の計画まではありません。</p>
124	美しくて住みやすい安心安全なまち	石川	7/18	会場	<p>そういう中で、被害が出ているが、具体的な対応は町としてはないのか。</p>	<p>昨年の台風でも、今回豪雨でも護岸がかなり被害を受けています。災害復旧事業で復旧を進めていますが、災害復旧なので原状復帰が原則であり広げることは認められません。局所的な改修は認められないので今のところは打つ手がないのが現状です。</p>
125	美しくて住みやすい安心安全なまち	石川	7/18	会場	<p>要望は可能だろうから、きちっとやっていただきたい。ハザードマップの避難所の問題は再検討をした方が良いのではないかと。避難所そのものが適切なのか検討しないと、二次災害が起きてからでは遅い。</p>	<p>避難所については、他の地域でも話があるので、一旦持ちかえって、検討したいと思えます。</p>

No	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
126	美しくて住みやすい安心安全なまち	石川	7/18	会場	先日の大雨で堂谷も氾濫した。堂谷は野田川時代から商業地としても整備されてきた。その中で排水する水を、逆流する樋門の管理を農会が行っている。そこを閉めるかどうかで商業地が水がつくかどうか。おとし、門を改修してもらって、簡単に上がるようにはなっていない。これまでは、柵もない中真っ暗な中、門の上げ下げをしていた。今回、柵をしていただいたが、照明がない。1時間ごとに見回りをしていたが、そこに照明だけはつけてほしい。役員が川にはまっても、周りから見てもらえる。野田川の水位計の所にカメラの設置をお願いしたい。加悦のところにはある。堂谷橋も加悦谷一円の水が集まり、一番溢れるか所。何とかお願いしたい。本掘削は、高速道路の橋脚工事の時にやったが、その時点からその個所からの上流に土砂の堆積が増えて行った。その掘削については是非お願いしたい。樋門の管理と合わせて、バイパスの水があふれないようにするポイントだと思う。また、香河川と野田川の合流地点で蛇行がすごい。山田側か、野田川側かどちらかの堤防が決壊するのではないかと心配している。現場を確認していただいて、本掘削をお願いしたい。	堂谷の農事組合の皆様には、樋門、それからポンプの管理までお世話になっており感謝しています。照明については前向きに検討します。水位計のカメラについては、現在上流の寺田橋に設置してあるが野田川本川のポイントは堂谷橋なので土木事務所と協議し、設置を要望します。野田川の堆積土砂の浚渫は従来から要望しており、引き続き要望していく。本掘削については、府土木事務所と話をしているが、現在行っている加悦奥川の改修が未完成なので具体的な話は完成後になります。別の話として、野田川の河口付近に大きな井堰があり、そのあたりで川の深さが変わっています。川の深さに影響していると思えるので、府土木事務所に適切な管理をお願いしています。KTRの鉄橋の下あたりまで影響が出ているのではないかと思います。根本的なも解決をしていきたいと思っておりますが、現段階では良いお話ができない。ご理解いただきたいです。
127	美しくて住みやすい安心安全なまち	石川	7/18	会場	奥山側の上側に丸山橋がすぐえぐれた状態になっているのはご存知ですか。えぐれた部分は農道になっており、車が往来している。先ほどの話で、改修ができないのであれば、応急処置もできないならば、通行止めの措置がとってもらいたい。	丸山橋上流の農道だが、被災箇所は奥山川の河川護岸であり京都府対応となります。1t土嚢を置いて護岸を保護するなどの応急復旧を府と協議し、できなければ通行止めになります。いずれにしても早急に対応します。
128	美しくて住みやすい安心安全なまち	石川	7/18	会場	空き家についてもお尋ねしたい。廃屋で崩れかけている家屋が通学路のすぐそばにある。屋根から瓦が落ちかけているのが何軒ある。空き家対策も考えていただく必要があるが、個人の財産であり行政として手を付けられないのは分かるが、子どもたちの安全確保を何とかしてほしい。	空き家対策については、皆さんに大変お世話になりまして、町内全域の空き家調査を3年ほど前に行った。目視で、580戸ほどの空き家を確認している。その中でも60戸ほど廃屋化していると認識している。倒壊の恐れや、周辺環境に大きな影響を与えるもの。所有者の方に通知文を送り、空き家管理をお願いしたいと対応を促してきている。近隣市町と比較しても、多くの地権者の皆さんが更地にしていただくなど、自主的に対応していただいている。所有者の方に情報提供するとともに、対応の促進を促すことが重要と考えている。全国的には、取り壊しの財政支援をしている自治体があるようですが、現段階ではそうしたことに至っていない。これも限界がある。そうした現況を見据えて今後の対応について、可能性を模索したい。廃屋撤去は、周辺環境の改善だけでなく、子どもたちの成長にも影響を与えるものと考え、慎重に対応を進めていきたい。 (副町長) 空き家については担当が総務課。通学路で瓦が危険だとのことですが、個人の財産に行政が手を出すことはできない。ただ、持ち主が分かっているのであれば、現況を伝え、改善してもらえないかお伝えすることはできる。空き家として把握したリストにあれば、役場からお願い文章を出すことはできる。皆さんにさせていただく必要はない。行政が手を出すことはできないが、そういったお願いをすることはできる。 (教育長) 子どもたちの安全確保は、重要ですので、担当課と、協議をし、区長さんにもお願いをしながら今後の対応をしていきたい。どうぞ、よろしく申し上げます。
129	美しくて住みやすい安心安全なまち	石川	7/18	会場	防災に関して、堂谷バイパスの水害が常態化している。その調整を一農会がやっている。農会だけの問題ではなく、商業地としても、ひいては町としても大きな問題ではないかと思っている。この状態では、非常に危険だという状態があると見据えて、総合計画でも考えられているが、今後の中期の計画を考えてほしい。このまま野田川の水位が増せば、逆流による決壊も起こりうる。樋門を開けることなく閉めた状態のままにせざるを得ないかもしれない。そうなれば、あのポンプでは、排水能力がたりない。府の方向性を示されているが、命の危険にかかわることなので、もう少し検討をいただきたい。一農会が、夜、危険な中を動きやすくなったとはいえ、樋門の上げ下げをしている。あの商業地を守ることも考えると、一農会が担うべきことか。町におけるあの地域を把握していただいて、商業地としても重要なら、町としても対応を。今回も、アパート、2件の家は、家から出れない状態が続いた。今後、このことが続くことも頭に入れて対応をしていただきたい。	石川、堂谷地域の冠水被害について、長期的な視点で対応をとのお話をいただきました。これまでの経過から、当地域が頻繁に冠水するという事を深く認識してきています。余りにも広範囲な浸水被害であり、これを克服するためにはどうするのか、検討の余地があるのではないかと思いますので、今回の災害も踏まえ、安全を確保するためにはどうすべきか、長期的な視点に立って今後考えていきたい。それから、堂谷地区だけではなく、ケーズデンキ付近でも、他の地域にも当てはまることだと思っています。今後検討を深めることをお約束させていただきたいです。
130	美しくて住みやすい安心安全なまち	石川	7/18	会場	水害の対応は、大所高所からお願いしたい。防災安全課から土嚢と、土嚢の砂をいただいて、非常に役に立った。土嚢袋と土がなくなっているので、再度要望を聞いていただいて、配ってもらえるものなら配ってもらいたい。防災に聞くと、補正予算に計上しているとのこと。よろしくお願したい。	この関係の専決補正を編成している所です。これから台風シーズンとなるので、補正予算に計上して対応したいと考えています。
131	住民が主人公となるまち	石川	7/18	アンケート	町長が言った意見どおりにはならないと思いますが、がんばって役場の皆さんお願します。	

No	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
132	美しくて住みやすい安心安全なまち	石川	7/18	アンケート	時間の制約があるなかで、言い放しになるのは仕方ないので、今後具体的協議をできるようにしてほしい(したい) 土木事務所対応となることもあるので、直接土木事務所に要望に行きたい。同行を願う。協議して川上地区からも改善策を考えたい。	
133	住民が主人公となるまち	石川	7/17	アンケート	先日の水害があったので、それに議論が集中した。実はもっと予算全般について議論をしたかったが時間がない。(・公共施設の統合問題・文化教育予算) まだまだ議論したり町民の意見を聴く場をつくってほしい。	今回は災害等に意見が集中したことは事実であります。例年ですと広く意見をお聞きできているものと考えています。
134	美しくて住みやすい安心安全なまち	石川	7/17	アンケート	根幹となる防災体制計画の策定をお願いしたい。	与謝野町の地域に係る防災に関し、総合化と計画化を図るため、地域防災計画で定めています。
135	住民が主人公となるまち	桑飼	7/20	会場	温江公民館のエアコン設置等について、宝くじの補助金を活用する方向と聞いているが、進展はあるか。	公民館の環境整備については自治宝くじを財源として行っています。温江区については今年度順番だったが、残念ながら採択されなかった。毎年秋頃来年度実施分の要望を取りまとめ申請する予定となっているが、温江区については来年度も引き続き申請していきます。これまではしてこなかったが、町長と上京し要望活動等努力をしていくことも考えています。
136	美しくて住みやすい安心安全なまち	桑飼	7/20	会場	先の豪雨災害について、避難者の対応をお世話になりありがたい。町道等被災カ所の復旧について早期着工をお願いしたい。	水稲は収穫前であることや、これから台風シーズンを迎えることもあり、早期復旧を目指します。復旧のための予算要求をしているので、復旧工事に入る際は現場確認等協力をお願いしたいです。
137	美しくて住みやすい安心安全なまち	桑飼	7/20	会場	豪雨災害について、町道庄ヶ崎大代線については昨年の台風時も被災し長期間通行止め、温江明石線についても今回被災し現在も通行止めとなっている。本復旧には時間がかかると思うが、片側通行できるように応急復旧工事をお願いしたい。	今回の災害では町全域で土砂崩土ありご迷惑をかけています。本復旧工事は9月に予定されている国の災害査定後になるため、まずは応急復旧をと考えていますが温江明石線については倒れている関電柱が取り除かれなければできません。予定では来週24～25日には撤去・仮復旧と聞いているので、そのとおりにいけば8月上旬には片側通行はできる見込みです。
138	美しくて住みやすい安心安全なまち	桑飼	7/20	会場	明石川については大雨の度に溢れ、区民が被害にあっている。雨が降る度に隣組長にお世話になり土嚢を積んでいる。明石三河内線の下流では工事に伴う土や、平時に上流から流れた土が常時たまった状態。災害を防ぐためにも大規模な浚渫をお願いしたい。	浚渫については上流から多量の土砂が流出しているため追いついていないのが現状です。財源的に可能な範囲で浚渫しますが、継続して進めている改修工事の完成を目指します。
139	美しくて住みやすい安心安全なまち	桑飼	7/20	会場	明石川改修について今年度の具体的な工期等は。	稲刈り終了後から年度末までに約70mを整備する予定です。
140	美しくて住みやすい安心安全なまち	桑飼	7/20	会場	町長から安心安全の実現との言葉があったが、災害に強い町づくりを強く願う。与謝野町、特に温江地区は大江山に囲まれた中に河川や住居があり、ハザードマップでも黄色の地帯となっている。これから台風シーズンを迎えるにあたり、防災・減災について町の考えは。	今回の豪雨災害について、与謝野町で一番被害が大きかったのは温江区で、池ヶ成も大きな被害となっており、治山や治水、森林整備については中・長期的な復旧期間が必要と考えられる。災害を防ぐため整備は必要ですが、ハード面だけの整備では限りがあり、ソフト面での整備充実が必要と考えます。必要となった際、町としては気象庁からの情報をもとにアナウンスをしているが、普段から非常時の避難についての議論を途絶えないように、住民同士の声かけ、避難の仕方の工夫など、防災についてハード・ソフト両面での充実が必要であると考えています。
141	美しくて住みやすい安心安全なまち	桑飼	7/20	会場	今回は避難が必要な状況となったが、町からの避難指示や勧告のアナウンスについて、それぞれの段階の基準、強制程度がわかりにくい。	避難指示があいまいで分かりにくいとのことについて、避難行動をとるべきかどうかは大きく3つの段階に別れており、一つは避難準備情報で高齢者や要配慮者等早めに避難が必要な方へ早急に避難を促す情報、二つ目は避難勧告で、できれば避難をした方が良い状況、三つ目は避難指示(緊急)で、危険が迫っており直ちに避難をする必要がある場合の指示情報となっています。今回は避難指示(緊急)の状態であったが、サイレン吹鳴が夜間であったこと、中高齢者の方に暗い中避難所まで来てもらうのは大変危険であることから、垂直避難を勧める放送をさせていただいた。垂直避難については、以前の大雨を想定した防災訓練の際にもお知らせしたように、横方向への移動ではなく、家の2階等の上方向へ避難いただくものです。隣組単位での防災会議等、日ごろから防災について話し合う機会を持っていただくなど、これからは地域力の向上が一番求められると思っています。

No	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
143	美しくて住みやすい安心安全なまち	桑飼	7/20	会場	1これまでから、池ヶ成線一帯については温江区で草刈り等の環境整備を行ってきたが、今回の災害で崩れている路線については今年は草刈りはしなくてもよいか。 2大江山への登山道、遊歩道はどうか。	1草刈り等について、いつもお世話になっています。今年度については、被災地帯は危険なため草刈り等はしていただくなくてもよいと思います。 2いつも町がお願いしている以上に整備いただいている。復旧できない状態では観光客にも、区民の方にも上がってもらうことはできないため草刈りも難しいと思います。
144	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	桑飼	7/20	会場	学校再編について、桑飼小学校が統合され校舎がなくなり、跡地に与謝の園とこども園が整備されると聞いている。桑飼小学校は地域住民にとって大きな存在だが、その跡地にできるのは2施設だけなのか地域住民の拠点となるような、やすらの里の喫茶店のような、地域住民が気軽に行ける施設の整備の検討はないのか住民の声にも耳を傾けてもらいたい。	貴重な意見をありがとうございます。学校再編については、今年2月～3月にかけて学校と地域で説明会を開催してきたところ。小学校については加悦小学校の校舎を活用して3小学校を統合し、保育園についても3つの保育園をこども園として整備する計画としているが、桑飼小学校跡地のレイアウトについてはまだできていない状態です。現在予定している基本設計は大枠の予算把握のためのものです。地域での説明会でも跡地利用について不安の声を聞いています。やすらの里の喫茶店のような交流の場の設置も考えられるが、これについては整備される法人へなげかけ、協議をしていく必要があります。再編については大きな枠組みの方針ができたところで、小学校の統合そのものについてもまだ合意が取れていない状況です。これから検討委員会を立ち上げ、議論していく中で地域からの声を少しでも取り入れていく方向です。今後、行政から委員会を組織していくうえでの依頼をさせていただくこととなるので、その際はぜひ協力願っています。地域と協力しながら進めていく方針としています。また、与謝保育園については来年3月で閉園が決まっており、一足早く加悦保育園と統合し認定こども園となる予定で、桑飼保育園はその後、新園舎ができてからこども園に統合という形になります。
145	美しくて住みやすい安心安全なまち	桑飼	7/20	会場	現在、農事組合の役をしている。昨年も温江では台風被害で24か所も被災し、今回も20か所も被災している。中山間がひどく、山奥から水を取っているところは特に壊滅状態。早期の応急復旧を望む。自宅前の川もまだ濁っており、池ヶ成線以外でも崩落があり、崩土で赤土が出ているところが多数ある。まだ山では流出が続いていると思う。山崩れが一番怖い。台風シーズン前に早く対処を願う。 森林税が導入されるとのことだが、どのような取り組みにつながるのか。	今回の豪雨については、土砂崩れ、濁流水の流出が目立っている。特に野田川より西側の崩壊が多く、住民の方への影響も大きくなっている。山については京都府に調査に入ってもらっており、治山堰堤の整備につなげていく予定。土砂に係る防災については、平成11年の広島での災害をもとに土砂災害防止法が施行されハザードマップができたが、法律では、「崩れたらコンクリートで直す」というハード優先の考えから、ソフト対策重視へ転換してきている。施設整備だけに頼らず、防災について地域の中での話し合いもお願いしたい。対策として長期的な森林整備が必要なのは確実。府民税部分の森林環境税はこれまでからあったが、今後は国レベルでの森林税が導入されるということなので、一定額を森林保全に充てられると考えている。併せて、これに伴い府税部分がなくならないように今後も要望していきたい。だが、森林保全事業の実施には森林組合などの民間の力が重要なので、人材育成や人材の確保が必要となってくると思う。
146	美しくて住みやすい安心安全なまち	桑飼	7/20	会場	尾上橋の上から川底にコンクリートが引いてあり浅渚できない。自宅の後ろの川については川水が堤防を越えていた。川底がコンクリートで浅いうえに水の勢いでコンクリートが流れ、咳止めた状態となっていた。調査に来た人に見てもらったが、復旧には時間がかかると言われた。 川の氾濫は命に関わる。一刻も早い復旧をお願いしたい。	現場は確認しています。温江川は虫本公民館の約100m下流までは京都府の管理となっているので早期復旧を要望します。
147	美しくて住みやすい安心安全なまち	桑飼	7/20	会場	今では山に入ってくれる人がいない。モデルフォレスト事業の導入の予定は。	モデルフォレスト事業は地域や任意団体が主体となり山の保全を行うものです。条件が整えば事業が採択されるよう支援しますので、要望・提案をお願いしたいです。
148	住民が主人公となるまち	桑飼	7/20	会場	公共施設のあり方について、施設の統廃合が進むようだが野田川地域の状況や方向性は与謝小学校・与謝保育園の状況や方向性はどうか学校施設は地域の避難所でもあるが統合するのか。	わーくばる横の給食センター、体育館、中央公民館等については建築から年数が経過し大変老朽化しています。給食センターについては給食をやめるわけにはいかないので更新とするが、中央公民館や体育館についてはこのまま継続とはせず、更新しない方向で利用者の方へ説明会をしている段階です。跡地は野田川地域のこども園を建設予定。住民さんからは厳しい意見もいただいているが、重複する新たな公共施設は作らない方針としています。避難所となっている学校については今後どうするか検討することとしています。 公共施設の統廃合については、これまでから行革推進委員会と協議していただいております。まとまった実施計画を今年3月に町長へ答申したところです。これに基づき統廃合を進めていく考えです。今後の跡地利用については、地域住民の方や施設利用者との協議を積み重ね、理解を得ながら順を追って計画を進めていきたい。避難所となっている学校がなくなった場合についても、区と相談していきたいです。 与謝小学校の跡地利用については地元区長も心配されているようです。地元が先導し旗振りをして、地元で委員会等を組織し検討いただく。地元が主導で町はこれに伴っていく方向としています。

No	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
149	美しく住みやすい安心安全なまち	桑飼	7/20	会場	平成16年の台風23号災害の際も治山堰堤整備を計画されたが、山林所有者の同意が得られず整備が進まなかった。	治山堰堤整備については、流域一帯の森林所有者の保安林規制に対する同意と用地の無償提供が整備の進まない要因であることは確かだが、近年、山腹崩壊の程度がひどくなってきているので、地域での理解も進んでいるのではないかと思います。日頃からの山林所有者の特定についても地域で協力をお願いしたいです。
150	美しく住みやすい安心安全なまち	桑飼	7/20	会場	保安林、治山堰堤整備等に伴う山林提供者への非課税適用について、所有者に周知されたい。	周知します。
151	美しく住みやすい安心安全なまち	桑飼	7/20	アンケート	森林整備に関わる民間事業者が極めて少ない現状であることが報告された。長いスタンスで森林の整備に係る人材を育成する計画とシステム整備を●●具体化してもらいたい。	森林整備に係る事業者が不足している現状は全国的な課題と認識しています。「新たな森林管理の仕組み」を進める中で検討します。
152	住民が主人公となるまち	桑飼	7/20	アンケート	小学校再編について、スクールバスをどのように実施するかを早めに知らせていただきたいです。まわりの人たちは、そこを心配しています。	具体的な運行については、学校づくり準備協議会で協議していただきますが、与謝小学校区、桑飼小学校区の児童すべてがスクールバスを利用できることを前提に、児童にとって最も有効な通学方法について協議を進めていただきます。
153	住民が主人公となるまち	桑飼	7/20	アンケート	知らないことが聞けて良かったです。	
154	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	加悦地域	7/23	会場	今後、どういう子どもを育てたいのか。運動会で4年生の徒競争が80mだった。昔は100mだったと思うが、何で80mになったのか。なぜその距離になっているのか。AIとかも出てきているが、体力がなかったらどうしようもない。そのあたりのことを考えてもらわないと競争ができないと思う。以前は、体力をつける取組みもあった。だんだんひ弱になる中で、小さな積み重ねが大事だと思う。	私がいつも思っているのは、私たちの子どものころから考えるといろんな意味でこれから生きていく社会は変化の激しい社会を生きていきます。そのためにも「豊かな学力・体力・人間性をもって、幸せな人生を送ってほしいです。特に、AIが進んでいく時代において、ぜひともこれからは学んだ知識を覚えるだけでなく、学んだことをどう活かしていけるかという能力をぜひ培ってもらいたい。」と基本的には考えています。徒競争のお話の体力面におきましては、そういった面でも昔に比べて若干体力は低下しているかもしれないです。実際、今日も過酷な酷暑になっていますが、我々の時よりも暑くなっています。今日も中学校の大会があって、熱中症のこともあり、休憩を取りながら運営を行っている状況で、そういう面でもいわゆる我慢強さもなくなっているかもしれません。また、体力がなければどうしようもない点について、私もわかっているつもりではありますが、なかなか体力がもたない現実も起こっています。今は学習指導要領に則って実施しているので、だいたい中学年は80m、高学年は100mが普通のことだと認識しているのでご理解頂きたいです。あと、切磋琢磨ということは大事だと思っているので、できるかぎり的人数で、お互いに競って、自分を高めていく事が大事だと思っています。
155	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	加悦地域	7/23	会場	小学校から英語の事業が始まります。実際、中学校から教育を受けた我々が、英語を話せますか。当時は話せる先生もいなかった。本当にそれを導入して、話せる先生、指導できる先生が集まりますか。	ご指摘のとおりです。私たちの時代から見ても、本当にたくさんの外国の方々が来られ、どこにいても外国の方にお出会いしている。ALTという外国語指導助手が入って30年くらい経過して、指導助手の先生と関わりを持つことで、修学旅行先などで外国の方とも抵抗なく語り合っている姿を見かけるようになりました。やはり時間がそういったことを解決してくれているのではないかと思います。ご指摘のとおり、私も劣等意識をもっているのが、話ができないことです。その当時は、私たちは覚える英語ばかりをしていました。その覚えたことを紙に書くことが成績に繋がっていたけれども、これからはそればかりでなく聞くこと・話すこともできるような施策・評価になりつつあるということをご理解頂きたいです。それから、今もそれぞれの小学校ブロックで英語が話せる先生を配置しており、研修に努めているところ。中学校におきましては、研修に出かけ、より一層英語を話せる先生の育成に努めています。ご心配の点につきましては、鋭意努力して解決できるようにしたいです。今、小学校3・4年生が外国語活動を楽しみながら行っていて、5・6年生から英語を勉強しています。それで、中学校との連携をとりながらスムーズな動きができるように取り組んでいきたい。また、今年の冬に、社会教育の方でイングリッシュキャンプということを実施して、小学校の子どもたちが英語に親しめるような環境を社会教育と一緒に進めていく事業も行っています。

No	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
156	一人ひとりが個性を活かし安心して働けるまち	加悦地域	7/23	会場	<p>まめっこ米の推進について、製品を売る努力はどれくらいしておられるのか。1反に最低6袋の肥料を入れたと思うけれど、代金はどこからでて、どれぐらい町に見てもらえるのか。去年、その費用は見えていないという話だったが、それでもなお、まめっこ米を作れと言われてるのは矛盾がないのか。</p> <p>あと、何年も言い続けているが、販路開拓について、JAだけでなく町もがんばってほしい。でも、町はぜんぜん動いてくれない。もっと町からの具体的な販路を広げる話が出てもおかしくないと思うが、どうなのか。今の場合、だいたい6～7割をJAに納めているだろう。7,000円程度で買ってもらっているお米が、市場に出回って12,000～15,000円になっている。</p>	<p>与謝野町の農業の最大の特徴は有機質肥料を活用した農作物の生産です。まめっこ米の流通の状況は、農家の独自販売チャンネルでの流通が43%、加悦ファーマーズライスなどの事業者が47%、JAが10%となっており、総じて取引価格も高いと伺っています。昨年度には要望に応え施設の増強工事を行いました。農家の皆さんがおっしゃるには、自然循環型農業や有機質肥料を活用し続けていくということ自体に価値があり、それを維持できた時には、価格上昇に繋がるということから積極的な循環型農業の宣伝についての要望も頂いています。今年度は京のまめっこ米の販売促進として特色ある農業を紹介するサイトの製作や販促支援事業を行い、これにより農家の利益向上、農地の保全に繋がると考えています。</p> <p>もう一点の販路開拓については、農産物の販売は、農家の皆さんが努力をされて、開拓をされています。そうした動向を注視しながら、町としてできることを考えていきたいです。その観点から、昨年度、要望にお応えし冷凍米飯加工施設にお米の貯蔵庫を整備したので積極的な活用を期待する。生産調整が廃止となり不安がある中、酒米、業務用米などの販路開拓を進めたいです。</p>
157	美しくて住みやすい安心安全なまち	加悦地域	7/23	会場	<p>今回の大雨に対する話の中で、土砂くずれ等については、今後対応くださるという話だった。今後の対応は当然してもらわないといけないけど、当初の対応や防災に対する考え方、また行政そのものが今回の対応をどのように評価されるのか聞きたい。</p>	<p>今回7月5日～8日にかけての集中豪雨でした。この間我々としては、本庁に対策本部、そして各庁舎に支部を置いて、まさに全庁体制の中で取り組みを進めました。そうした時に、我々が考えますが、人命第一ということです。その住民の皆さんの生命をいかに守っていくかという観点から気象台や各所から寄せられる情報を集約しながら、できる限り根拠を持った形で、例えば避難に関する情報を皆さん方に提供させていただいた。この間、避難所の開設ができたことにより避難いただいた。そして、それらの過程の中で人命に関わる事故がなかったということは一定評価ができていると思っています。しかしながら、事前の対策、例えばこれは大雨が降ったとしても大雨に耐えうる社会基盤をしっかり作るべきという観点からもっと考え抜かなければならないと改めて思ったことが、山の保全、そして森林の整備、これらが適切に行われていればまだまだ土砂崩れの件数が少なかったのではないかと思います。そして、この間、昨年の秋そして今回と通じて、浸水が同じカ所に集中しているということもごさいます。そうした、同じカ所に災害の道が付き始めていることに対し、より積極的な支援、これは財源の確保も含めてやらせていただければならないことを改めて感じました。</p> <p>したがって、人命にかかわる事案がなかったことは一定の評価をする一方で、社会基盤の整備については、まだまだ課題が残ったということになります。</p>

No	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
158	美しくて住みやすい安心安全なまち	加悦地域	7/23	会場	<p>今回、私が公民館にずっと詰めていた時に、どうい対応したらいいのかわからなかった。役場の職員が1人常駐していて、区の役員いるけれど、避難者はいなかった。その時、行政から区に対して一切連絡がなく、痺れを切らして常駐職員に連絡をとってもらった経過がある。別の職員が他の用事で来られた時に、状況を確認したら、はっきりとした返答はなく、相変わらず役場からの連絡も一切ない。結局、常駐している職員を迎えに来られた時に、警報が解除になった旨を聞いた。そして、入り口に張られた紙の内容をみると、1時間ものタイムロスがあることがわかった。今後、「行政としては、こういう状況だから何時頃に解除になると思います。」というような情報を、職員がいるのだから、その方を通じてでも絶えず連絡をとるように徹底してほしい。</p> <p>あと、一番雨が激しい0時頃に、気になって区をパトロールした。そうしたら、数カ所噴水状態になっていて、小枝などがつまっているのを除去したら、水の流れも変わった。ただそういうことをやっていいことなのか。その時、我々が事故にあったときのことにも気にかかると、このような指示命令システムが一切ない。マニュアルがあるのかどうかもわからないけど、その辺りのマニュアルを決める等、各公民館が避難所となり、常駐している地区役員の役割・位置づけをはっきりとさせてほしい。</p>	<p>私たちは災害警戒を行っている行政、そして各地域の皆さんとの連携は非常に重要であると思っています。その上で情報提供をしっかりとさせていただかなければならないというのは、ご指摘を通じて改めて実感したところです。我々の避難に関する情報提供に関しては、気象台等から寄せられる情報、またそれらの情報を整理させていただき、根拠を持った形で避難所の開設や閉鎖の判断をしています。その中において、我々も気象がどうい風に変遷をしていくか読みがなかなかできない時があります。そういったことから、曖昧な返答をしてしまうことや返事が遅れることが多々あったと思います。そういう事情を含めて、ご説明をしっかりとさせていただくべきでした。現在、まだ災害を受けて、状況を確認させていただき、対応をさせていただいている状況です。もう少し時間が経った時に、今回の一連の流れを検証し、その検証を通じ改善できる点あるいは相談させていただき協議をしなければならぬ点を明らかにさせていただきたいので、今後の参考にさせていただきたいと思っています。</p> <p>区の役員さんの役割ですが、今回たまたま避難者がおられない地区でしたが、町内24区の中では、相当の人が避難をされていました。その避難されてきた区民の皆さん、避難された方の対応をお世話になりたいと思っています。あと、例えば消防団にも出ていただいています。土のう積みとの関係で本部に問い合わせがあるので、支部に連絡をし、消防団なり区民の皆さんで対応できることは対応いただけないかとお願いはしています。当然、命に関わる場合は避難していただくことが大前提ですが、水が入ってきそうなので土のうを積んでほしい、側溝があふれそうなので土のうを積んでほしいなどの依頼があれば、消防団もそうすけれども地元の役員さんで対応できることがあれば、そういった対応もさせていただければと思っています。</p> <p>また、地区ごとの対応マニュアルというのは、基本的に統一したものではありません。町から一律的な対応マニュアルは作れないと思いますが、各区でもっておられるものを参考までに皆さんにお示しできると思います。それを皆さんのものにしていただければいいと思っています。</p> <p>あと、町の職員を避難所に1名派遣しているのは、町と区との連絡役という役割もあります。職員を有効に使ってください。ただ、1番雨が強くなってきた時前後は、役場にも相当数の電話がかかってきているので、役場から定期的に状況がお返しできなかったのは今後の教訓です。誰かそれができる職員を配置しておけば、時間がかかっても24区に順次お伝えできます。また、加悦支部があるので、支部に指示を出せば対応できると思います。</p>
159	美しくて住みやすい安心安全なまち	加悦地域	7/23	会場	<p>要支援者に対する防災訓練について。</p>	<p>防災訓練について、過去2回加悦地域と山田地域において要支援者と避難行動訓練を行っています。行政も一緒になって避難訓練していました。訓練であるので要支援者を想定した訓練です。区役員等が車イスに乗って要支援者を想定しているとはいえ、本当にそういったケースがあった場合、対応できるかは疑問点であります。</p>
160	その他	加悦地域	7/23	会場	<p>町長「ご指摘をありがとうございます」という言葉はやめていただきたい。できるだけ実現していきたいというような言い方をしていただきたい。</p> <p>まず、双峰公園・鍋塚について、もう少し目に見える活動をしてほしい。</p> <p>河川改修について、何回も草刈しても野田川の景観が乏しい。もう少し考えてほしい。</p> <p>ちりめん街道について、マンネリ化している。天神橋の改修の後。</p> <p>加悦公民館の改修、商工会を加悦の方に移動できるかどうか。加悦区民としても商工会の移転を考えてほしい。答弁は結構です。要望です。</p>	<p>提案、ご提言をいただきました。それぞれ私たちが考えることがございます。本日は要望を受け継ぐという段階で止めさせていただきます。ありがとうございます。</p>
161	美しくて住みやすい安心安全なまち	加悦地域	7/23	会場	<p>防災について、竜巻情報の連絡をしていただくのは良いが、時間帯の区切りをつけて発表してほしい。</p> <p>建設課の職員も、この前新聞に載っていた入札の件について色々ありました。行政で考えるのは良いが、岩屋川についても住民に聞くことも重要ではないか。</p>	<p>まず、建設課が所管する事業において、住民の皆さんからのご提言を受けるといことは必要だと思っております。そうしたことから、ちりめん街道の水辺公園の新設にあたりましては、委員会を立ち上げ、設計をし、工事着手をしていきたい。住民の皆さんからのご提言をいただきながら、各種基盤整備をしていきたい。</p>

No	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
162	一人ひとりが個性を活かし安心して働けるまち	加悦地域	7/23	会場	結婚子育てについて実際と謝野町で2人で食べていける給料はありますか外からいれてくるのではなく、町から出て行く人を止める産業を考えていかなければ。ホップの件も与謝野ビールが1本1000円もしている。誰が飲むと思いますか。麦はどうなのか。以前お聞きした返答がない。ホップだけでなく、麦も必要ではないか。行政も議員も賛成しているからには我々が言うことではないが、そこまで考えていくべきではないか。生活できるだけの給料がもらえる。昔はガチャマンで機織りしていたら生きていけた。若者が町内から出て行かないように仕組みを考えるのが先なのではないか。	この地域において生活していける収入があるかについて、私の同世代においても、時間を惜しみながら仕事し、結婚し、生活しておられる。そうした人たちの背中を見ていると、生活できないとは思っておりません。住民一人ひとりの工夫を通じて、この町で生活していけると思いますし、今後におきましてもサポートしていきたいです。新しい産業を創出していくことがどれほど難しいことなのか、そして、関わる人たちの心意気がどれほどなのか考えたときに、ホップの取り組みについても、たくさんの批判を受けながら前進をしてきたことは、心強い活動だと思っています。現段階では生産が留まっているが、この可能性を伸ばしていく。産業にまで発展をしていくことはできるのではないかと考えています。例えば、こうした産業を通じて、魅力的な仕事を創出していくことは目指すべきであるし、諦めては元も子もない。これからも産業創出の面では、積極的に取り組んでいきたいと考えます。最後に雇用の面で現在この管内における有効求人倍率は1.6億を超えており、役場の庁舎においても求人情報を提供しています。この地域には仕事があると思っています。この地域で生活していきたい方には雇用情報を提供できるようハローワークを通じて頑張っていきたいです。
163	美しく住みやすい安心安全なまち	加悦地域	7/23	会場	橋立の世界遺産は関わっているのか。そんなバカなことはするなと言いたい。毎年砂を置いて白砂を作っているだいてんきょうで府中側の方へ砂を上げている。あと野田川の下流は草が多い。ひどいもの。カキがついたり。だいてんきょうの所もカキがについて毎年ボランティアでカキを取っている。そんなんで世界遺産に登録できることが可能かを含めて予算を使ってほしい。	配布資料の13ページをご覧ください。主体としては宮津市。共有する阿蘇海については与謝野町も大きく関わっておりますので、今後につきましてはこうした活動を通じて取り組んでいきたい。しかし、砂の散布についてはわたしは詳しく知らないので少し調べさせていただきます。
164	美しく住みやすい安心安全なまち	加悦地域	7/23	会場	阿蘇海の野田川の下流の件は何かならないのか。	毎年学生ボランティアがカキ殻回収や地元の皆さんが清掃活動をしていただいているが、気長な取り組みになってくる。全ての環境を変えていくのは難しいし、漁業権の話もできます。今は地道な活動でやっていくしかない状況です。場所も認識しています。
165	住民が主人公となるまち	加悦	7/23	アンケート	懇談会の時間短い。1時間30分の時間で町長の説明が3分の1も取ると、話し合う時間が少ない。24ヵ所の場合と違い小学校校区ごとでわ！	次回以降の参考とさせていただきます。
167	住民が主人公となるまち	加悦	7/23	アンケート	当町の予算について何年か先には地方交付税、財政調整基金等、財政が不足してくると思いますが、人口減少の歯止め、人口増加対策等町としてのこれからの指針をお聞きたい。	特効薬はないものと考えますが、交流人口を増やしたり、関係人口を増やすことで観光や産業の活性化につなげ、一人でも多くの若者がUターン等ができるまちづくりを進める必要があります。
168	地元を誇りに想い、人の流れを生むまち	加悦	7/23	アンケート	空き家調査をしている。当町は空気もよく災害も少なく住みよい町だと思いますが、全国で大変な災害があるなか、空き家の活用で人口増に結びつく対策が取れるのではないかと思います。このまちに越して生涯基盤を持ちたいと思っていただけるようなことを発信し、一人でも人口が増えるように、若者が他地域に出ずに町に住んでいただけるよう、空き家対策も行政で何とか力を入れていただきたいです。	与謝野町内の空き家については、空き家バンクの制度を設けて登録いただいた空き家情報をHPや都市圏での移住定住のイベント等で発信し、空き家の活用と移住者の受け入れについて取り組んでいます。このほか、京都府北部の7市町で連携協力して情報発信や人材育成等について取り組み、圏域への移住定住促進の取り組みを進めています。
169	住民が主人公となるまち	加悦	7/23	アンケート	公共施設の整理について(加悦町民会館の改修、加悦婦人と子どものセンター)計画を早めに発表していただきたい。	そのようになります。
170	住民が主人公となるまち	加悦	7/23	アンケート	町役場の女性幹部の登用を多くしていただき女性の意見を広く聞けるようにしてほしい。	町として女性の登用を進めておりますし、男女共同参画の観点から広く意見を徴収しています。
171	つながりで笑顔を未来につむぐまち	加悦	7/23	アンケート	認定こども園予算5,300万円の内容は設計料高い。	
172	美しく住みやすい安心安全なまち	加悦	7/23	アンケート	防災マニュアルの必要性	地区で防災マニュアルを作成されているところがあり、参考に提供させていただきたいと思っておりますので、各区で作成をお願いしたいと考えています。
173	住民が主人公となるまち	加悦	7/23	アンケート	前回、今回の町政懇談会に出席させていただいた。町政ということで予算中心の話が多かった。町政以外にもざっくばらんに話し合える時間を毎回少しでもとっていただきたいと思っております。	次回以降の参考とさせていただきます。
174	住民が主人公となるまち	加悦	7/23	アンケート	私は男性ですが、参加者が女性だけの特別懇談会も開いてほしいと思う。いつもの会で女性の方の意見をもっと聞きたいからです。	次回以降の参考とさせていただきます。

No	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
175	住民が主人公となるまち	加悦	7/23	アンケート	参加人数が少なすぎる。区の役員だけでもと思い、何度も参加するように頼んでいたのに、魅力が、引き付けるものがないのか。時間も少し短いと思う。	次回以降の参考とさせていただきます。
176	美しくて住みやすい安心安全なまち	加悦	7/23	アンケート	ごみ処理について ・火力、能力、そこまで低いどこまでものなら処理できるのだろうかー火力処理にかかるエネルギーや費用など。エネルギーと捨てたものの行先を、利用方法をみんなで考えたいです。技術の勉強も含めて。 ・処理の行先(埋め立てで解決！)→後で掘り起こして考えるつもり ・分別の意味・何がどこまでどのようにリサイクルされているのか。自分たちの生活に帰ってくる様子が見えるようにしてほしい。	リサイクルについて、アルミ缶は、アルミ缶や車のホイールなどアルミ製品に再生されず。スチール缶はスチール缶や自動車など鉄製品に再生されます。びんは、びんや道路のアスファルト材料の一部などになります。ペットボトルは、ペットボトルに再生はされませんが、ぼうし、ジャージ、手袋などの衣料関連品、定規などの文房具、たまごパックなどの日用品などになります。紙パックは、トイレットペーパーやティッシュペーパーなどに再利用されます。
177	美しくて住みやすい安心安全なまち	与謝	7/27	会場	7月6日の豪雨災害で道路が陥没した。一日も早い復旧を望んでいるが、修繕はいつ行われるのか。暫定的な補修はできないのか。	この道路の陥没は野田川の護岸が崩れたものであることから、京都府が河川災害復旧事業で国の補助を受けて復旧します。そのために国の査定(審査)を受けなければならないが、査定は2~3か月先になるので着工は早くても年末の見込みです。それまでに暫定的な修繕が可能かは京都府と協議します。
178	つながりで笑顔未来につむぐまち	与謝	7/27	会場	認定こども園の整備事業に5千万円以上かかっている。岩滝こども園の設計を利用して費用を抑えられないのか。	設計だけでなく調査費を含んでいる。地形に応じた対応、また地域ごとに住民の方の想いを反映する必要があるため岩滝と全く同じ設計図を使うことは難しいです。
179	一人ひとりが個性を活かし安心して働けるまち	与謝	7/27	会場	大企業でなくてもいいので、与謝野町に企業誘致を進められないか。現在は高校・大学卒業した若者が地元にもどって来られない。また、地元商店も人口が減少して売り上げが伸びない。他市(綾部市)など大きい企業が誘致され個人所得が上がっている。役場で開発チームを置いて誘致を積極的に進めてほしい。町民雇用を促進するなど企業への優遇も考えてほしい。	既存企業の支援がまずは大事であり、それに加えて、雇用確保も大事だと考えています。現在積極的に誘致活動に取り組んでいます。町では企業誘致促進条例を定めており、これは町内雇用を促進する企業に財政的支援をする内容のもので。今後も与謝野町に興味のある企業があれば情報提供をしてほしいと思います。
180	魅力ある教育が活力ある人や地域を創る	与謝	7/27	会場	小学校の再編について、与謝地区全児童がスクールバスを活用できるということでしょうか。	子どもたちすべてがバスに乗りうる環境を構築していきます。徒歩希望の方はそれを尊重します。
181	住民が主人公となるまち	与謝	7/27	会場	毎年区から町へ地元の要望をあげるが、その際却下された理由がわからない。具体的な理由とともに結果を教えてほしい。	すべての要望への対応は不可能です。今年からは危険度が無ければできないなど具体的な返事をします。毎年同じ要望を出してもらおうのではなく、重要度の高いものから対応させてもらいます。返事は区のほうへお返ししますので確認をお願いいたします。
182	美しくて住みやすい安心安全なまち	与謝	7/27	会場	奥滝峠の最終処分場について。ごみの減量化といいつつ、砕いて埋めるだけでいいのか。	奥滝の処分場は老朽化が進み修理をしても対応できません。現在新処分場を1市2町で建設しています。新しい焼却施設の稼働により埋めるだけでなく、取り扱いは変わらと思うので注目いただきたいと思います。
183	美しくて住みやすい安心安全なまち	与謝	7/27	会場	焼却施設が無いことから野田川地域の人に対し岩滝の最終処分場の焼却炉を利用するようHPで案内されているが、加悦地域の人にも適用されると考えてよいか。	岩滝の焼却炉は現在使用できますが、基本的には各地域の処分場を利用してほしいです。ただ、加悦地域から岩滝のほうに木材など搬入できるかわからないので、また確認させてもらう。(加悦地域は加悦焼却炉があるため、今まで案内はしていません。基本的には加悦地域の方は、加悦最終処分場に搬入してもらおうこととなっていますので、現在のところ加悦地域の方が岩滝最終処分場に搬入することは考えていません)
184	美しくて住みやすい安心安全なまち	与謝	7/27	会場	新処分場ができたリユースの考え方はどうなるのか。	新処分場は朝来市の処分場を参考にしています。まだ町の方針は出ていないが、使えそうなものが最終処分場にあることもあるので、再利用も取り組みのひとつになります。3R運動を町も進める方針です。
185	美しくて住みやすい安心安全なまち	与謝	7/27	会場	奥滝処分場を1日でも長く使えるようにしてほしい。	地元の皆さんに大変なご協力をいただいています。地元の方と協議しながら施設を運営し、一杯になった後どうしていくか地元と調整していきます。
186	住民が主人公となるまち	与謝	7/27	会場	与謝小学校が廃校、子供園や老人ホームも桑飼地域に行くことになった。小学校の跡地を利用して与謝地域がさびれないようにしてほしい。	小学校跡地利用についてはまだ方針決定されていません。地元の皆さんの協議に行政も参加し、様々な規制を考慮した上で方向性が決定すれば早急に跡地利用を考えていかななくてはいけない。是非住民の方に主となって何がいいのか決めてほしいです。老人施設については、与謝に来てくれないか要望はしたが、元々桑飼地区にある施設なので、施設者からの強い希望から桑飼地区に設置となりました。

No	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
187	美しく住みやすい安心安全なまち	与謝	7/27	会場	不燃物処理場のゴミが府道からよく見え汚らしい。前の課長や行政懇談会でも言ったが改善されない。昔はゴミに土をかぶせて見えない様にしてもらっていたが・・・。	住民環境課に伝えます。改善方法があるのか原課に確認します。 (覆土をするなどして管理を徹底します)
188	美しく住みやすい安心安全なまち	与謝	7/27	会場	(7月6日の豪雨災害で道路が陥没した。一日も早い復旧を望んでいるが、修繕はいつ行われるのか。暫定的な補修はできないのか。)の質問に重複するが、修繕まで3ヵ月まつと冬になる。工事ができなくても、鉄板を敷くなどして乗用車が通れるように、何か町として対応はできないのか。	現場を確認し、安全性を確保したうえで仮でも通行できるようにできないか京都府と協議します。
189	住民が主人公となるまち	与謝	7/27	会場	総合計画の未来像「人・自然・伝統 与謝野で織りなす 新たな未来」のキャッチフレーズが、どういう町を目指しているのか不鮮明だと思う。説明してほしい。	住民の方の意見をまとめ、それを政策につなげ、導き出したものです。 今までの与謝野町を作り、将来作り上げるのも人。自然から生まれてくる恩恵を受けて町は発展した。そして古くから多くの人によって伝統が作られてきた。これらを町づくりの中心に据え、新たな未来を切り開いていく想いを込めました。理念的で抽象的な言葉ではありませんが、それを実現していくための各種施策方針については具体的に示せるよう努力してきました。できるなら総合計画全体を認識いただいて、町の未来像に理解を深めていただきたいです。
190	住民が主人公となるまち	与謝	7/27	会場	総合計画全体を見ることは非常に難しい。住民の方の一番強い思いはどのようなものがあつたのか。第一次総合計画との違いをどのように理解されているか。	第二次総合計画は2千人を超える住民の参画をいただいでできました。その意見を尊重し施策に結び付けた。この点が第一次総合計画と大きく違う点です。内容的には7つの分野別方針を固めていますが、人づくり・教育に投資をしていくという意見を多く賜ったと認識しています。
191	住民が主人公となるまち	与謝	7/27	会場	総合計画を啓蒙する、浸透させていくことはどのようにしていく予定か。	住民ワーキングの方にお世話になった別冊がある。総合計画と別冊についてより周知する。現在は広報でのお知らせにとどまっているので、今後出前講座などあらゆる機会を通じて浸透させていきたいと思います。
192	住民が主人公となるまち	与謝	7/27	会場	総合計画別冊の表紙が「お前らしつるか」と、自分は上から目線だと感じた。町から届く封筒には未だに第一次総合計画の将来像の文言があり、このままでいいのかと疑問に思う。シールを貼るなど対応し、切り替えていけばよかった。	将来像の文言を書き換えた封筒を速やかに配布したいと思います。
193	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	与謝	7/27	会場	小学校再編について。再編する際の配慮を教育委員会から提案されている。1通学路整備、2エアコン・トイレの整備、3教員の人員配置、4交流事業、5跡地活用それぞれのビジョンが決まっていたら教えてほしい。	1通学路の整備について、スクールバスは与謝校区全員活用できるようにしていく。集合場所までは徒歩でお願いしたいが、集合場所については決めてほしい。 2エアコン、トイレの整備について。現在エアコンはまだ一部の教室しか整備できていない。再編後は小学校のエアコンの整備も進んでいくかと考えている。トイレ様式化についても同様。 3教員の人員配置について。与謝・桑飼小学校の教員をそれぞれ数名配置し、子供が相談しやすいよう配慮する。激変緩和していく。 4交流事業について。現在小学校合同で修学旅行を一緒に行っている。また、学年間で交流を行っており、激変緩和を行っている。 5跡地事業について。地域の方に主導してもらい、方向性が決まればすぐに委員会を立ち上げ動く。
194	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	与謝	7/27	会場	小学校跡地利用として、臨海学校など宿泊施設を作るなどし、マスコミへもっとアピールしていくといい。	跡地利用については、提案をいただきながら慎重に進めていきたい。 インターネットなど町内発信について現在力を入れている。より情報提供できるよう努力していきたい。
195	美しく住みやすい安心安全なまち	与謝	7/27	会場	CATVネットについて。今後どうなっていくのか。	加入者は現在2千件を切っている。 情報過疎を防ぐためネット事業をおこなっていたが、民間が参入する中で行政が対抗していくことは不可能。将来ネット事業は撤退する予定。町の回線をイオ光などに事業譲渡しようとする費用が多額になることからの予定は無い。
196	その他	与謝	7/27	アンケート	与謝野町の成長を信じています。	
197	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	与謝	7/27	アンケート	与謝小区は全域で送迎バスが出してもらえるとということでひと安心しました。	
198	住民が主人公となるまち	与謝	7/27	アンケート	跡地利用について、住民との合意形成を図りながらということなので、各地域全体のところでも話し合っていないと感じる。	

No	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
199	魅力ある教育が活力ある人や地域を創る	与謝	7/27	アンケート	岩屋小区は送迎バスなしの現状維持なんでしょうか。	加悦地域のスクールバスの運行だけでなく、与謝野町内の児童・生徒の通学方法についても再検討する必要があると考えています。
200	一人ひとりが個性を活かし安心して働けるまち	与謝	7/27	アンケート	地元産ホップを使った地ビール1本750円。付加価値商品もこれだけ高いとなかなか商品化できないのではブランド化とホップ事業の展望をその都度町民に報告してほしい。	地ビールについては、外部事業者に醸造委託していることが高価格の要因と見ています。町としては、町内にビール醸造所が民間活力で生まれることを目標としており、実現に向けての支援を行いたいです。事業の報告はシンポジウム等で行ってきたが、他の手段も用いてお知らせすることを考えます。
201	美しくて住みやすい安心安全なまち	与謝	7/27	アンケート	ごみの減量について…金属などはいつ持って行っても引き取ってもらえるところを作る。資源として町の収入にしたらよい。	金属については近くの民間事業者で引き取ってもらえるため、現在のところ考えておりません。
202	美しくて住みやすい安心安全なまち	与謝	7/27	アンケート	食料品等の店の袋は禁止にできないか。一時、買い物袋を使用する気運があったがいまだにレジ袋の利用が多い(プラゴミになる)	今後、買い物袋の有料化の実施が国から示されると聞いている。動向によって、与謝野町としてどうするか考えていきます。
203	美しくて住みやすい安心安全なまち	与謝	7/27	アンケート	紙ごみも雑紙になるものもまだまだ多いと思う。	引き続き「雑がみ」の広報に努めていきたいと考えています。
204	美しくて住みやすい安心安全なまち	与謝	7/27	アンケート	野菜ごみは有機肥料にしやすい方策を考えてほしい。	生ごみ処理容器(コンポスト)の補助を行っているため、補助を活用して、生ごみ野菜の肥料化をおこなってもらいたい。
205	美しくて住みやすい安心安全なまち	与謝	7/27	アンケート	ごみの減量についてはまだまだ不十分であり町の指導をもっとするようすべきたと思う(毎日少しずつ良くなれば、将来大きな実績ができますと思います)	可燃ごみの約半分を占める紙を分別するなど、ごみ減量化の広報に努めていきたいと考えています。また、ごみ有料化によるごみの減量を進めていきたいと考えています。
207	魅力ある教育が活力ある人や地域を創る	与謝	7/27	アンケート	学校統合について。与謝校区全児童がバス通対象となるという説明を聞き安心しました。	
208	住民が主人公となるまち	与謝	7/27	アンケート	合同地域懇談会について、他の地域の方がいると意見が出しにくいと思っていたが、いざ話を聞く中で地域性がでてかえて興味がわきました。町長の若さで頑張ってください。	次回以降の参考とさせていただきます。
209	美しくて住みやすい安心安全なまち	与謝	7/27	アンケート	ゴミのリサイクルについては取り組みを。	現在は「雑がみ」のリサイクルに力を入れています。
210	一人ひとりが個性を活かし安心して働けるまち	与謝	7/27	アンケート	ホップの事業としては利益はありますか。ビールの売り上げはどうなってますか。売値がたかくないですか。	ホップ事業は、3年の試験栽培を経て農地の保全対策、産地の知名度アップとしての効果はあり、引き続き推進するとしています。ビールの販売は民間が行っていることであり詳しくは承知していない。
212	住民が主人公となるまち	与謝	7/27	アンケート	財政については毎年1千万マイナスです。どうなるか表のとおりですね。	
213	美しくて住みやすい安心安全なまち	与謝	7/27	アンケート	今まで以上にだんだん取り巻く生活環境が厳しくなっていく災害とうにおいても今まで例のないことがおこなっていき今後どうなっていくのだろう。安心安全だとよいが危険不安が年々何かにつけて増大しているように感じています。なぜでしょうか。またその対策は。	地球全体の温暖化等により、台風や豪雨が発生しやすい環境になってきていると考えています。危険カ所がたくさんある中で、対策には費用と時間がかかるのですぐにはできない状況です。住民の皆さんは、まずは避難をして自分の命を守る行動を心がけてください。
214	美しくて住みやすい安心安全なまち	与謝	7/27	アンケート	傷んだ道路の件で質問しましたが、応急的な対応で安全を確保したうえで本工事でなくても速く使用できるようにお願いします。	京都府と協議したところ、河川護岸が高いうえに道路幅員が狭いため、護岸工事が完了しないと仮設道路もできないとのこと。早期復旧を要望しました。
215	美しくて住みやすい安心安全なまち	岩滝地域	8/1	会場	災害時の避難所について、立町区では立町会館となっている。付近の民家が浸水被害を受けるような場合、立町会館も被災してしまう可能性がある。近くに岩滝ふれあいセンターがあるが、頑丈で2階立てであり、万が一の際にも2階に避難することができるのでそちらがよいのでは。	岩滝ふれあいセンターを避難所とするよう検討したいと思います。調整についてよろしくお願ひします。

No	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
216	住民が主人公となるまち	岩滝地域	8/1	会場	みらい会議を今年度は開催しないのか。1,800人を越える人の声を聞いて総合計画が作られたが、全ての町民の声を聞いた訳ではないので引き続きみらい会議の開催が必要だと思う。今後のみらい会議の開催についてどうお考えか。 総合計画や別冊を見たが、住民がどう動いていくのか、今後が見えてこない。あれだけ意見を聞いて作成したもので、今後も引き続きその都度、声を聞いていく機会が必要になるのでは。	第1次総合計画は、合併から間もない頃に色々な委員や団体から意見を聴取し作成した。第2次総合計画作成については、まず役場の若手職員と地域から手上げ方式で委員になっていただきワーキングチームを組織した。そして、これまでとは異なったやり方で、委員が宮津高校や阿蘇シーサイドパークなどに出向き、直接住民の意見を聞いてでき上がったのが、基本計画と基本構想である。 おおむね2,000人にご協力いただき作成した。ワーキンググループに別冊を作ってもらった。今後は、これに予算を付けた実施計画を策定していく予定である。これまでとは異なったやり方で策定していきたいと考えている。これまででは、どういった事業展開を行っていくのか見えてこなかったが、今回はそれを切り口とし、事業の中身がチェックできるような仕組みづくりを検討している。 町長が懇談会を重要視されているように、住民の声を直接伺うこういった場を設けたいと思っている。計画については、作りほかしくならないような仕組みづくりが大切だと考えている。みらい会議は、計画を作るために開催していたものであるため、同じみらい会議ということにはならないが、今後は時間をいただき、どう生かしていくのか、どう実施していくのかという点について、何かに置き換えて考えていきたいと思っている。
217	美しく住みやすい安心安全なまち	岩滝地域	8/1	会場	浜町・東町地域は、高潮等で浸水が懸念される。全世帯が避難する状態になった場合は、岩滝小学校が避難所になり、駐車場等でグラウンドを利用することになるであろうが、現状では暗い。グラウンドに緊急時用の照明設置はいかがであろうか。また、毛布等の備蓄倉庫の建設はいかがか。	現状で毛布等の備蓄品を配備させてもらっています。体育館等で保管できているため、新たに備蓄倉庫の建設は予定していません。 照明については、陸上教室等で使用しているものがあり、十分な明かりとは言えないかもしれないが、グラウンド全体が見渡せる程度のもがあると認識しています。有事の際はこれを活用したいと考えています。ただし、どこにスイッチがあるなどは広く周知できていないので、そういったことは徹底していきたいと思っています。
218	美しく住みやすい安心安全なまち	岩滝地域	8/1	会場	あと、グラウンドに飲み水がない。	飲料水は備蓄品にある水を利用いただきたい。 水道設備については、グラウンドにはないかもしれないが、玄関先など近くにあるものを利用いただきたい。有事の際は、給水車の配備等を行うなどの対応を行いたいと考えています。当面の間の水については、校舎等の設備を利用いただきたいと思っています。
219	一人ひとりが個性を活かし安心して働けるまち	岩滝地域	8/1	会場	企業誘致について、サンオール跡地にクロレラが来ると聞いていたが、進捗状況を教えてください。	現在は、跡地内の改修を行っている聞いています。内部に据え付ける機械の接続に時間がかかっており、当初予定していた操業時期より遅くなっていると聞いています。先方からはできるだけ早く操業したいと伺っており、町としても情報交換を行っていきながら、できるだけ早く皆さんにお知らせしていきたいと思っています。撤退した訳ではありません。
220	魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	岩滝地域	8/1	会場	小学校へのエアコン設置についてはいかがか。	町内において、中学校へのエアコン設置は終了。小学校も考えているが、現在、加悦・野田川地域では小学校の再編をすすめており、校舎を統合するにあたり、設置のタイミングを見計らっているところです。 岩滝小学校についてはトイレの洋式化を行い、次はエアコン設置となるが、町単独の予算では厳しいので、国の補助につけて動きを見ているところである。ただし、他の会場でも要望をいただいております。設置に向けた良い方法を検討していきたいと思っています。
221	美しく住みやすい安心安全なまち	岩滝地域	8/1	会場	旧町時代に家庭向けにコンクリート製の焼却炉の斡旋があった。これの処分方法について教えてください。回収等してほしい。	設置してもらった業者に産業廃棄物として適正な処分をしてもらいたい。旧町時代にそういった補助制度があったとの事なので、広報誌等で処分についてPRしていきます。
222	つながりで笑顔を未来につむぐまち	岩滝地域	8/1	会場	かえでこども園について、少ない職員でがんばってもらっている。副園長を設けていただいているが、担任を持っておられ、現場(職員)の負担が大きいように思うがどう考えておられるか。 かえでこども園について、避難路として年長児棟の後ろの田んぼあぜ道を整備して確保するという話があったが、未だに整備されていない。0~2歳児が乳母車等で避難する際に通れないので、整備をしてほしい。	かえでこども園に限らず、職員が少ない中で頑張ってもらっているのは認識している。正規職員だけでなく臨時職員もいるが、最近では臨時職員になっていただける方が減っており、しわ寄せがいつていることがある。ただし、保育に必要な人数は定められており、それを遵守して担当課と現場職員と調整し無理のないようやっていきたい。 避難路については、意見が出ていたことを含めて把握していなかった。用地の関係、予算の関係があるが、持ち帰り確認をしたい。
223	美しく住みやすい安心安全なまち	岩滝地域	8/1	会場	避難所の閉鎖について、前回は朝5時に退所した。その前(平成30年7月豪雨時より前)は朝3時であった。朝3時に避難者が帰られ閉鎖となったが、その時間は適切であったか。	夜中に避難所を閉鎖できるような状態になったとしても、対策本部では、避難者がいる場合は、朝までいていただいてもよいと周知しています。午前3時に直ちに退所してください、という対応はしていないものと認識しています。 ただし、避難者がいない場合は、区の役員にも負担がかかることから早く閉鎖するようなことをさせてもらっています。

No	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
224	美しくて住みやすい安心安全なまち	岩滝地域	8/1	会場	区役員が退所しても、避難者があれば閉鎖しないということか。	町長の回答のとおり運用させていただいている。今後もこういった運用でいきたいと思っている。
225	美しくて住みやすい安心安全なまち	岩滝地域	8/1	会場	野田川の河口、安田生コン付近に土砂が堆積している。除去に向けて京都府へ働きかけを。	野田川河口の浚渫は京都府港湾局の管轄であり既に要望しています。できるだけ早く対応してもらえるよう引き続き要望します。
226	美しくて住みやすい安心安全なまち	岩滝地域	8/1	会場	久美浜で河川付近の野焼きを行っていた。いつからか良くないということで野田川では行っていないと思うが、再度実施を検討していただけないか。	堤防の「火入れ」については、野田川地域、加悦地域の一部では今でも、地域が主体となり害虫駆除を目的として町や消防署の指導のもと行われています。
227	美しくて住みやすい安心安全なまち	岩滝地域	8/1	会場	堤防の内側では樹木が大きくなり、また動物も出る。以前のように内側も野焼きをしてはどうか。 ■農林課長より 堤防の外側(川側)では樹木が大きくなり、また動物も出る。以前のように外側(川側)も野焼きをしてはどうか。 堤内＝田んぼ側(人が住み守る必要のある側)内外逆と思いますが・・・ また、河川の樹木の伐採などは河川管理者になるので建設課に見てもらってください	不審者情報があると学校やメルマガに情報発信したり、見守り隊たいやスクールガードリーダーを中心に各学校を廻っている。平成13年6月の池田小事件以降、避難訓練、不審者に対する訓練を定期的に行う。通学路の安全点検、児童生徒に危険カ所の指摘、注意喚起をしている。町民揃って子どもたちに声をかけ、守り育てる機運をお願いしたい。
228	美しくて住みやすい安心安全なまち	岩滝地域	8/1	会場	クマ情報について、どの辺に出たのかが知りたい。次からこの辺に出たということを含わせて放送していただけないか。	クマが「今そこにいる」などの目撃情報においては、区長と相談しその時に放送を行っています。時間が経過した情報の場合は、その数も多いことからホームページやメルマガによる広報としています。農林課へ問合せいただけたら、目撃数や場所などお答えします。
229	住民が主人公となるまち	岩滝地域	8/1	アンケート	なかなか意見のしにくい雰囲気でしたが、来てよかったです。	
230	地元を誇りに想い、人の流れを生むまち	岩滝地域	8/1	アンケート	阿蘇シーサイドパーク開発は終了ですか予算に入っていないようですが。	阿蘇シーサイドパークの開発については平成24年度に管理棟の新築等の竣工をもって完了となっています。
231	住民が主人公となるまち	岩滝地域	8/1	アンケート	はじめて町政懇談会に参加させていただいた。町長様をはじめ大勢に来ていただき住民のかたからの質問やご意見にお答えいただきありがたいなと思った。ありがとうございました。	
232	美しくて住みやすい安心安全なまち	岩滝地域	8/1	アンケート	旧町時代、あっせんがあった焼却炉を我が家でも購入したが、すぐにダイオキシンの問題が明らかになりほとんど使用しない(できない)状態。町として一定の責任をもった廃棄の手立てをしてほしい。	設置してもらった業者に産業廃棄物として適正な処分してもらいたい。旧町時代にそういった補助制度があったとの事なので、広報誌等で処分についてPRしていきたいです。
233	住民が主人公となるまち	岩滝地域	8/1	アンケート	若者が定住できるよう一般の会社だけでなく町としても正式採用者を増加してほしい。臨時職員が多すぎるのでは。	若者が定住できるまちづくりは重要であり、町としてもまちの規模にあった職員数を確保するため、職員を募集し採用しております。臨時職員の人数につきましては、保育所などのこどもの低年齢化により臨時職員が増えていく現状となっております。
234	住民が主人公となるまち	岩滝地域	8/1	アンケート	男山の最終処分場が満杯の様子である。新たに処分場を設置できるのか。また、今の施設の延命措置はあるのか。	新たな広域ごみ処理施設が稼働することに伴い、燃えないごみも全ていちど新施設に搬入し、金属類や燃えるごみを取り出して残渣のみ処分場で埋立てるため、ある程度の延命は可能となります。
235	一人ひとりが個性を活かし安心して働けるまち	岩滝地域	8/1	アンケート	それぞれの事業が少しずつ向上していること、とてもうれしく思う。ホップ作りも当町の新しい事業として確実に進んでいることを新聞で知った。ビールはまだ味わったことはないが、期待している。	ホップ事業は、3年の試験栽培を経て農地の保全対策、産地の知名度アップとしての効果はあり、引き続き推進するとしています。ビール事業は、町内にビール醸造所が民間活力で生まれることを目標としており、実現に向けての支援を行います。
236	地元を誇りに想い、人の流れを生むまち	岩滝地域	8/1	アンケート	シーサイドパークの何かもっとよい活用方はないのか。長寿会の月1回のサロンも定着しうれしいが、もっと若い人たちの参加も希望する。老若男女ふれあいできないものか。	阿蘇シーサイドパークを活性化させるため、賑わいの拠点となる小さな飲食店や物販店の設置ができないか検討中です。また、阿蘇シーサイドパークで「〇〇をしたい」、「〇〇をしてもいいの」といったことがありましたら、観光交流課までご相談・ご提案ください。